

【報告事項】令和7年度公民館事業報告について

令和7年度は、公民館の事業計画に基づき、「主催事業」、「団体育成事業」、「個人学習支援事業」、「貸館事業」の4つを柱に事業を実施しました。

《主催事業》

1. 中央公民館

| 当初計画（令和7年3月公運審） | 変更点等 |
|--|--------------------------|
| こども対象事業 | |
| 1. 親子SDGs学習 | |
| 2. こども工作教室 | |
| 3. 冬休み 書き初め教室 | |
| 4. 北総鉄道 探検 | 事業名変更 北総鉄道見学（そうふけ公民館と共催） |
| 5. お天気の仕組みを学ぼう | |
| 大人対象事業 | |
| 1. いきいきカレッジ | |
| 2. 健康リンパセラピー | |
| 3. 利根川講座-自然と歴史- | |
| 4. 彩りのある暮らし講座 | |
| 5. こんまり流かたづけを学ぶ | |
| 共催事業 | |
| 1. 手賀沼船上親子観察会 （手賀沼流域フォーラムと共催） | |
| 2. Let's サークル体験 夏休みは公民館へGo! （中央公民館利用サークル懇談会と共催） | |

●親子SDGs学習

| | | | | | |
|-------|--|----------|---------------------|-------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 地球温暖化問題が深刻となる20年・30年先にこの問題に向き合うことになる世代（10代～30代）に、この問題に取り組むきっかけとする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学4年生～6年生と保護者） | | | | |
| 定員 | 12組 | | | | |
| 受講者数 | 7組 | | | | |
| 受講率 | 58% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月28日（土） | 地球温暖化についてクイズとゲームで学ぶ | 佐藤 秀樹 | 5組 |
| 参加者合計 | 5組 10人 | | | | |
| 講座を | 「地球がずっと元気でいられるように私たちにできることってなんだろう」という問いかけから始まり | | | | |

| | |
|-----|--|
| 終えて | SDGsの分類・講師の海外協力の仕事・千葉にちなんだクイズなどの講義のあと、すごろくや、かるたで遊びながら学びました。環境についての学習の機会を提供出来ました。 |
|-----|--|

●こども工作教室

| | | | | | |
|--------|---|---------|----------------------------|-------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 篆刻は印章を彫り、紙に押しした印影と印章本体を鑑賞する芸術である。自分独自の印章を彫り、作る喜びを体感し、想像力・表現力などを養う | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学4年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 15人 | | | | |
| 受講者数 | 8人 | | | | |
| 受講率 | 53% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月2日（土） | 講師の用意した巴林石に転写した文字を彫り、仕上げる。 | 飯嶋 千曲 | 8人 |
| 参加者合計 | 8人 | | | | |
| 講座を終えて | 講師があらかじめ候補の文字を示して下さり、それを巴林石に転写し彫る。細かな作業であったが、受講生達は集中し、一気に彫り上げ自分だけの印章が出来ました。 | | | | |

●冬休み 書き初め教室

| | | | | | |
|--------|---|-----------|--------|------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 日本の伝統文化に触れ講師の指導のもと書き上げる。書道に対する関心を深めるとともに、集中力を高め作品を完成させることの喜びを味わう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学3年生～中学3年生） | | | | |
| 定員 | 30人 | | | | |
| 受講者数 | 25人 | | | | |
| 受講率 | 83% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月20日（土） | 書初めの練習 | 吉野 博 | 25人 |
| 参加者合計 | 25人 | | | | |
| 講座を終えて | 講師に直接アドバイスを受け、書き進めていき最後は1枚目とは比べ物にならないくらい上達した受講者が何名もいました。学年の差はあるが集中して練習し、作品を完成させることが出来ました。 | | | | |

●北総鉄道見学（そうふけ公民館と共催）

| | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 北総鉄道印旛車両基地を見学し、北総鉄道について、普段見ることができない鉄道車両の構造等を学ぶ。また、共同事業とすることで、学区・学年を超えて一緒に学ぶことにより、協調性を学び、友情の輪を広げる機会とする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学3年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 25人 | | | | |
| 受講者数 | 21人 | | | | |

| | | | | | |
|--------|---|----------|-------------------------------|----------|-----|
| 受講率 | 84% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月21日(木) | 北総鉄道印旛車両基地の見学 (そうふけ公民館と共催) | 北総鉄道株式会社 | 21人 |
| 参加者合計 | 21人 | | | | |
| 講座を終えて | そうふけ公民館と共催で見学会を行いました。現地到着後、ヘルメットを借用し、参加者全員で電車に乗り込み洗車機に入る様子を車内から見学しました。車内アナウンス体験や普段は触ることのない非常通報装置ブザーを押して、車掌と通話する体験などを行いました。電車の安全運航は一つ一つの点検によって守られていることを理解することが出来ました。 | | | | |

●お天気の仕組みを学ぼう

| | | | | | |
|--------|--|----------|-------------|----------------------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 気象台職員から気象に関する事象についての授業を受け、夏休みの課題対策のヒントとする | | | | |
| 対象 | 市内在住者(小学4年生~中学3年生) | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 16人 | | | | |
| 受講率 | 80% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月24日(木) | 実験を交えたお天気の話 | 銚子地方気象台 田中智也 服部友貴 | 16人 |
| 参加者合計 | 16人 | | | | |
| 講座を終えて | 受講生と会話をしながら講座が進み、実験を織り交ぜながら自然にお天気の仕組みを理解できるよう工夫されていました。親子講座の企画でも良い内容でした。 | | | | |

●いきいきカレッジ

| | | | | | |
|-------|--|---------------|----------------------------|-------------------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | シニア世代が地域の歴史・健康な体づくり・心を豊かにする創作活動など「知」「徳」「体(栄養含む)」の総合的な学習を学ぶことにより、生活改善を考えてもらうきっかけづくりをする。また、講座を通して生きがいづくり・仲間づくりにつなげることなどにより、これからの人生を「生き生き」と過ごしていくことの支援を目指す。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者(50歳以上) | | | | |
| 定員 | 16人 | | | | |
| 受講者数 | 15人 | | | | |
| 受講率 | 94% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 5月15日(木) | 高齢者福祉と介護保険 | 高齢者福祉課 | 14人 |
| | 2 | 6月19日(木) | 悪徳商法撃退術 | 消費生活センター | 14人 |
| | 3 | 7月17日(木) | 世界を知る JICA シニアボランティアの活動を聞く | 千葉 JICA シニアボランティア | 14人 |
| 4 | 9月18日(木) | 知って得する生活習慣改善術 | 健康増進課 | 15人 | |

| | | | | | |
|--------|--|-----------|---------------|----------|-----|
| | 5 | 10月16日(木) | 千葉西部防災センター見学 | 防災センター職員 | 13人 |
| | 6 | 11月20日(木) | 3B体操体験 | 3B体操講師 | 8人 |
| | 7 | 12月18日(木) | グラスアートの作品を作ろう | 風岡 明美 | 12人 |
| 参加者合計 | 92人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>第1回は、介護保険制度について学習しました。印西市も高齢化率が24.5%の『超高齢化』となりますが、これから、介護が必要、あるいは認知症の方が増え、支える世代が減ることは確実であり、健康で支えあうことができる、「自助・互助・共助・公助」ができるよう自分達にできることを考えなければいけないと思います。</p> <p>第2回は、今なお、詐欺被害の報道は絶えない。消費生活センターにシニア世代への注意喚起をお願いしました。昨年度の相談件数の4割はシニア世代でした。</p> <p>第3回は「講師が活動された国々の様子を中心にお話をされました。その国の様子がよくなりましたが、具体的な活動の様子をもっと伺いたかったです。しかし、最後に「世界平和を実現するためにみなさんが出来ること」として受講生にメッセージをいただきました。国際社会での共存の大切さを改めて実感できた時間でした。</p> <p>第4回は、日本人の平均寿命と健康寿命の差が男性で約9年、女性は12年もあるそうです。今回は講師の軽妙な語り口からか、受講生が引き込まれていました。</p> <p>第5回は、千葉西部防災センター「体験ツアー」を行いました。オリエンテーション、防災映像の視聴のあと、実際に体験コーナーで、地震・風水害・応急救護体験、119番通報体験・火災の消火体験・煙避難体験を行いました。風速30m/秒の風の体験では、バーにつかまっていなくて立ってられないことを体験しました。映像ではよく見る光景を、実際に体験し「台風」などの「怖さ」を実感。他の体験もそれぞれが体験しました。この施設は防災に対する知識をインストラクターから得、実際に体験でき、防災の意識を深めることができました。</p> <p>第6回の3B体操は、まず、道具を使わずに、ストレッチから始めました。全身を伸ばし、パッティング等を十分に行いました。後半は、道具を使って運動を行いました。音楽に合わせ、筋肉運動、ストレッチを行いました。認知機能向上と健康増進の効果が期待できるということです。</p> <p>第7回のグラスアートを作ろうでは講師から指導された手順にそって作業を開始しました。作業台ごとに指導を行っていきました。フィルム・リード線を切る、リード線を貼る工程の連続でしたが、リード線をはる作業が難しく。各作業台で協力して作業をする様子が見られました。最後まで集中し作品を完成させることが出来き、達成感を味わうことが出来ました。</p> | | | | |

●健康リンパセラピー

| | | | | | |
|-------|---|-----------|-------|--------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | リンパの知識を学びながら、呼吸体操、ヨガストレッチ、リンパマッサージ等を組み入れた身体づくりを体験し、今後の健康づくりに活かすきっかけとする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者 | | | | |
| 定員 | 16人 | | | | |
| 受講者数 | 16人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 10月17日(金) | リンパの話 | 秋葉 みどり | 12人 |

| | | | | | |
|--------|--|-----------|--------------------------|--|-----|
| | 2 | 10月24日(金) | リンパマッサージケアの方法 | | 14人 |
| | 3 | 10月31日(金) | 全身のリンパケア・日常、続けていきたいリンパ体操 | | 15人 |
| 参加者合計 | 41人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>第1回では、リンパについて、リンパ管は血管に沿うような形で全身に張りめぐらされていることや、リンパ液は体を巡る間に体内のゴミ（老廃物・脂肪・病原菌等）を回収し、リンパ節で解毒無害化することを学びました。実際にリンパ節の動きを確認しながらセラピーを施していきました。</p> <p>第2、3回では、お腹・足・足裏・腰・背中セラピーを学びました。二人組で交互にマッサージを施し、「とても勉強になった。」「先生の説明が楽しかった。」「家でも実践したいと思う。」という好意的な意見を多く聞くことが出来ました。自分で今後も続けられるように、講座回数を増やしてほしいなどの声が聞かれ、健康づくりへの意識高揚に寄与することが出来ました。</p> | | | | |

●利根川講座—自然と歴史—

| | | | | | |
|--------|--|-----------|--------------------|-----------------------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 中央公民館に隣接する「利根川」を手がかりとして、印西地域の歴史・社会・環境などを総合的に学び、自分たちが暮らす地域を理解しふるさと意識を育みながら、これからのまちづくりについて考える機会を提供する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者 | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 6人 | | | | |
| 受講率 | 30% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 9月19日(金) | 利根川の歴史 | 矢島毅之 (成田山霊光館学芸員) | 5人 |
| | 2 | 10月11日(土) | 利根川と文学 ～利根川図志を中心に～ | 秋山 笑子 (元千葉県立博物館職員) | 6人 |
| | 3 | 11月21日(金) | 北千葉導水路の見学 | ビジターセンター職員 | 5人 |
| | 4 | 12月13日(土) | 江戸時代の治水の仕方 | 市川幸雄 | 4人 |
| 参加者合計 | 20人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>第1回は、印西市の北側を流れる「利根川の歴史」を学びました。東遷によって、被害の大小はあれ、毎年のように洪水に襲われるようになり、これは、利根川の氾濫のみならず、印旛沼、手賀沼に流入する河川の増水にもよるもので、明治期になっても、洪水との戦いは続きました。明治29年の河川法の制定（高水工事の実施）、明治33年、流域200kmの堤防改修工事、利根運河・江戸川放水水路の完成、昭和に入ってから大洪水を引き起こしましたが、昭和31年手賀沼排水機場の完成を経て手賀沼との長い戦いは終息を迎えました。利根川の歴史を改めて学ぶことが出来ました。</p> <p>第2回は、利根川を語るうえで外せない、『利根川図志』。これを中心に、文学に残された『利根川』を見ていき、原作者の赤松宗旦と市川、それぞれ、なじみのある地名に受講生も興味を持ち、より身近な話題として取り組みました。</p> <p>第3回は、北千葉ビジターセンターの見学を行いました。なかでも団体しか見学できない、ポンプ室は好評でした。利根川からの水の流れを確認でき、晩秋の手賀沼の景色も彩りをそえてくれました。</p> | | | | |

| | |
|--|--|
| | 第4回は、元国交省、第1 機場にもお勤めされた講師が、利根の東遷を推進した、関東郡代伊奈氏について講演がありました。関東流と利根川の東遷について、なかなか関連づけて学ぶ機会がありませんでしたが、この講座で学ぶ機会が得られました。 |
|--|--|

●彩りのある暮らし講座

| | | | | | |
|--------|--|----------|-------------------------------|-------------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 創作・工芸など作る喜びを体感し、想像力・表現力を養いながら手作りの作品で生活に彩りを添えていく。また、自然の物に触れることや手先を動かすことは、ストレス緩和や認知症予防などに繋がると言われており、それらの一助とする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者 | | | | |
| 定員 | 第1回 15人 第2回 8人 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 15人 第2回 3人 | | | | |
| 受講率 | 第1回 100% 第2回 38% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 11月6日(木) | 正月飾りに挑戦!! ~わら細工で亀をつくってみよう~ | 岩井 猛和 他 協力者 | 15人 |
| | 2 | 1月16日(金) | 白いお皿に染め付け体験 | 俵 順子 | 3人 |
| 参加者合計 | 18人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>わら細工で亀を作ろうでは、講師の先生と協力者の皆さんで、あらかじめ甲羅以外のパーツを作成してくれていたため、受講者は甲羅部分の作成が主となりました。それぞれ協力者に指導してもらい進め、個性的な甲羅がそれぞれ出来上がり残りのパーツを組み立てて完成となりました。出来上がった作品を嬉しそうに持ち帰る姿がありました。</p> <p>「白いお皿に染め付け体験」では、募集人数について、講師からの希望で8人となり、定員に達していましたが募集期間中にキャンセルが出て、6人で締め切りました。その後、開催日当日に3名のキャンセルがあり結果、3名での開催となりました。内容は、素焼きの皿に絵柄を転写し呉須で線を書き彩色するところまでの体験講座で時間的にもちょうどよく終わることが出来ました。</p> | | | | |

●こんまり流かたづけを学ぶ

| | | | | | |
|-------|------------------------------------|-----------|--------------------------------|------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 「ときめくものを選ぶ」視点でかたづけを進めるこんまりメソッドを学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者 | | | | |
| 定員 | 15人 | | | | |
| 受講者数 | 14人 | | | | |
| 受講率 | 93% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 11月28日(金) | 「こんまり流メソッド」を学べる体験型ワークショップを体験する | 俵 順子 | 14人 |
| | 2 | 12月5日(金) | 収納の実践 | 俵 順子 | 11人 |
| 参加者合計 | 25人 | | | | |

| | |
|--------|--|
| 講座を終えて | <p>第1回は、「片付けられない理由」や「捨てられない理由」を学びました。講師の座学とグループごとの発表という形で進められました。</p> <p>第2回は、「こんまり流片付け」の実践編を行いました。片づける為の基本のカテゴリーと順番、整理・収納の違いについて学びました。自分の価値観（ときめき）に従い、モノを選択する作業の連続であるこんまり流片付けを、楽しく学ぶことが出来ました。</p> |
|--------|--|

●手賀沼船上親子観察会（手賀沼流域フォーラムと共催）

| | | | | | |
|--------|--|----------|--|--|-----|
| 事業区分 | 共催事業 | | | | |
| ねらい | 手賀沼について、環境啓発を行っている市民団体の手賀沼流域フォーラムとの共催で、手賀沼の環境・浄化対策について、座学で学んだあと、六軒川・弁天川・手賀川の自然環境を船で実見し、自然環境の保全と共生について親子で考える機会を提供する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生と保護者） | | | | |
| 定員 | 10組 | | | | |
| 受講者数 | 9組 | | | | |
| 受講率 | 90% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月26日（土） | 手賀沼の環境についての座学及び六軒川・弁天川・手賀川・手賀沼を舟で巡り、手賀沼の自然環境を観察する。 | (講義) 水と暮らしを守る会 (乗船体験) 印西市観光協会 | 9組 |
| 参加者合計 | 9組 18人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>当日の朝、【熱中症アラート発令の為、船を出すことはできません。】と観光協会から連絡があり、急遽室内での座学に時間を延長しました。</p> <p>① 【私達の飲み水・捨て水について】では受講生にポストイットに記入しホワイトボードに張り付けるという参加型を取り行いました。</p> <p>② 【手賀沼と流域の外来生物について】ではパワーポイントでの座学となり。（ナガエツルノゲイトウ）は印旛沼から入り込み一度壊れた生態系を元に戻すことの難しさを学びました。</p> <p>船に乗ることを楽しみに参加した受講者には、大変申し訳ないですが、近年の夏の異常とも言える気温の高さを理由に安全面を考慮した判断となりました。</p> <p>今後も夏の時期に行う講座を考えるとときに安全に配慮した講座の決定が求められると感じました。</p> | | | | |

●Let's サークル体験 夏休みは公民館へGo！（中央公民館利用サークル懇談会と共催）

| | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|
| 事業区分 | 共催事業 | | | | |
| ねらい | 中央公民館利用サークル懇談会と共催で、夏休みの期間を活用し、小・中学生に希望するサークル活動を体験する機会や、世代間交流の場を提供する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小・中学生） | | | | |
| 定員 | 10人 | | | | |
| 受講者数 | 6人 | | | | |

| | | | | | |
|--------|---|---------|--|-----------------|-----|
| 受講率 | 60% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月3日(日) | 公民館で活動しているサークルに地域の子供たちが参加して、サークル活動を体験する。 | バルーンアート ピッコロ | 6人 |
| 参加者合計 | 6人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>風船に空気を入れるのがこどもでは無理であることから、親子で参加となりました。剣・花・花のブレスレットの3つを作りました。今回は2組の参加でしたが、サークルの方々が受講生の間を回り指導されるには、適当な人数でした。とても楽しんでいる姿が見られました。</p> | | | | |

2. 小林公民館

| 当初計画 | 変更点等 |
|----------------------|---|
| こども対象事業 | |
| 1. 親子コンサート | 事業名変更 天使の木親子コンサート 回数を2回から1回へ |
| 2. 科学実験講座 | 事業名変更 すごくよく飛ぶ紙ひこうきを作ろう |
| 3. 科学実験講座 | 事業名変更 筋肉のタンパク質を抽出して酵素で分解してみよう！ SDS-PAGE 実験 |
| 4. 職業体験講座 | 新規 事業名変更 薬剤師にレッツ・トライ！ |
| 5. 部活見学 | 事業名変更 部活見学へ行こう！成田高校競技かるた部 |
| 5. クリスマス会（小林図書館共同事業） | |
| 大人対象事業 | |
| 1. 小林カレッジ（全7回） | |
| 2. 世界遺産講座 | 新規 事業名変更 美しい世界遺産の話（全2回） |
| 3. ピラティス講座 | 事業名変更 姿勢をきれいに！ピラティス講座（初級編） 新規 事業名変更 ぼっこりお腹解消！メンズピラティス |
| 4. リンパセラピー講座 | 事業名変更 免疫カアップ！リンパセラピー講座 |
| 5. フラワーアレンジメント講座 | 事業名変更 季節のフラワーアレンジメント |
| 6. 小林公民館30周年記念イベント | 追加実施 |
| 7. スマートフォン講座 | 新規 事業名変更 初心者のためのスマートフォン講座 回数 2回から1回に変更 |
| 8. アンブラグドミニミニコンサート | 事業名変更 小林アンブラグドミニミニコンサート |

●天使の木親子コンサート

| | | | | | |
|------|---|-----|----|-----|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 季節に沿ったテーマの音楽や歌を親子で一緒に楽しむ中で、安らぎや情操感を育てる。乳幼児の子を持つ若い世代に公民館の事業に参加する場を通して、施設に関心や親しみを持つきっかけとする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（0～5歳の子とその保護者） | | | | |
| 定員 | 20組 | | | | |
| 受講者数 | 20組 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |

| | | | | | |
|------------|---|----------|--|---|------------|
| プログラム | 1 | 7月25日(金) | テーマ【夏!】 うた、ピアノ演奏、リズムあそび、海の 布あそび、船のカード、お話 | 天使の木 うた 山崎 佑希子 ピアノ 市川 未緒 ピアノ 堀野 りか | 19組 44人 |
| 参加者合計 | 19組 | | | | |
| 講座を 終えて | <p>今回の募集は広報に昨年のコンサート風景を写真掲載したこともあり、子育て世代の申し込みが順調でした。対象は0～5歳の子とその保護者でしたが、諸事情により平日開催となった為、3～5歳児と父親参加が少なかったと思います。0～2歳が多かったので受付もコンサート開始の15分前からとし、待つ時間を短くした結果、集中力もとぎれることがなかったと思います。演奏のテーマは「夏!」とし、季節の歌やピアノ、そして青の大きな布を動かしながら、海の泡のようにシャボン玉を吹いたり室内の環境として職員の協力で、前日に、魚やプリズムのモビールを天井から下げ、立体的に装飾したこともあり、会場は海のイメージで満たされました。簡単製作のカード作りは船の形とし、開くと親子の写真が飛び出すしかけになっており、保護者は記念になると喜んでいました。(写真は、開始まえにポラロイドで撮りました)ピアノの連弾は、聴き馴染みのある映画の主題歌「SUMMER」の曲で大人はしっかりと聴き入っていました。絵本は、参加者の年齢を考え「生まれてきてくれてありがとう」に選び直しました。全員がどの場所においても見ることができるよう、ホワイトボードに絵本を映像で映し出し、講師の読み聞かせの声とピアノのBGMで、皆、飽きることなく見入っていました。その流れで講師が「天使の糧」という曲をソプラノで歌い上げました。このコンサートは毎回、始まる前に保護者に向けて、こどもが泣いたり、動き回っていても、耳でちゃんと聴いているので大丈夫だと話があり、その為、親も安心して参加していると思います。親と子がそれぞれに楽しむことのできるコンサートとして「天使の木」の名前も定着しつつあります。</p> | | | | |

●すぐよく飛ぶ紙ひこうきを作ろう

| | | | | | |
|------------|--|----------|---|-------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 航空力学に基づいた紙ひこうきづくりをすることで科学に興味を持つ体験をする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住の小学生 | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 12人 | | | | |
| 受講率 | 60% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月10日(日) | やり型・せみ型の紙ひこうきを作る。 的に向かって紙ひこうきをとばす。 | 吉村 龍雄 | 12人 |
| 参加者合計 | 12人 | | | | |
| 講座を 終えて | <p>こどもたちが紙ひこうきの仕組みや折り方に興味を持ち、上手く飛ばしたいと思う気持ちから、真剣に講師の話を聞く姿が印象的でした。やり型・せみ型という2種類のひこうきを作成することで、それぞれの飛行特性の違いの体験や揚力、重力等の航空力学の一端に触れる経験ができたと思います。一列に並んで、飛行距離や的(かさの中)にめがける競争では、こどもといっしょに付添いの保護者も熱心に参加され、会場も多めに盛り上がり、親子で学び、応援し合い、楽しむ内容となっていました。身近</p> | | | | |

| | |
|--|--|
| | <p>な A4 サイズの上質紙を使いこどもたちの創造力や集中力を引き出すことが出来、親子での交流が自然と生まれる有意義な講座として、今後も継続的に実施したいと考えています。講師は、明るくこどもと楽しむことを第一に考える姿勢で取り組み、こどもたちの反応も良く、積極的に質問をすることも多かったと感じました。参加したこどもや保護者から「こんなに長く飛ぶんだ」と感嘆する声も聞かれました。開催時期は、夏休み前半が望ましいが、今年度は選挙もからみ、7月の開催は出来ませんでした。今回は別のタイプの紙ひこうきの作成や新しい競技も広がりそうです。ホールの大きさに対しての参加人数は、安全面の配慮として再検討したいと考えています。</p> |
|--|--|

●筋肉のタンパク質を抽出して酵素で分解してみよう！ SDS-PAGE 実験

| | | | | | |
|--------|---|---------|---|------------------------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | タンパク質の実験を通して、実験の過程や結果を肉眼で観察し、科学の楽しさに気付く。 | | | | |
| 対象 | 市内在住の小学1～3年生 16人 小学4～6年生 16人 | | | | |
| 定員 | 各回16人 | | | | |
| 受講者数 | 1回目 小学1～3年生 11人 2回目 小学4～6年生 12人 | | | | |
| 受講率 | 1回目 69% 2回目 75% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月2日(土) | キウイフルーツの酵素でタンパク質を分解して、SDS-PAGE(タンパク質を大きさによって分離する実験方法)を用いたタンパク質の見える化を行い観察する。 | 現 明治大学農学部 助教 大和屋 健二 | 8人 |
| | 2 | 8月9日(土) | | | 10人 |
| 参加者合計 | 18人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>本講座は、グリーンキウイフルーツに含まれる酵素(アクニジン)の働きを利用して、鶏肉のタンパク質を分解する実験を行いました。まずは、キウイをミキサーで液体にし、ガーゼで果肉と液体に分離した後、その液体を細かく切った鶏肉に加え、一定時間反応させます。その後、SDS-PAGEを用いて電気泳動を行い、タンパク質を見える化し観察を行いました。</p> <p>低学年は、初めて聞く科学用語に困惑する様子もありましたが、真剣に講師の話に耳を傾け、ノートを取っていました。マイクロピペット(スポイト)の使用時には慎重に操作しようとする姿勢が見られました。また、電気泳動装置(タンパク質等の分子を電気力で動かし、種類や大きさごとに分ける機器を使った実験)では、結果が目に見える形で現れるので、装置のそばから離れない子もいました。</p> <p>高学年は、酵素の働きや電気泳動の仕組みに対して、より深い関心を示し、積極的に質問をしたり、マイクロピペットの操作にも慣れが早く、正確に液体を扱う姿が印象的でした。実験の様子を携帯で撮影する姿も多かったのですが、細かい実験結果のデータの名称については、講師が、昨年同様に、参加したこどもたちへとデータ値を館に送ってくれました。講師は、実験経過は、ノートに書き、自分で考え、調べることが大切であると伝えていました。今回も保護者の見学もありとしました。また安全面の配慮として部屋まで保護者は送迎することを徹底すべきと感じます。</p> | | | | |

●薬剤師にレッツ・トライ！

| | |
|------|----------------------------------|
| 事業区分 | こども対象事業 |
| ねらい | 薬剤師の役割や簡単な仕事の体験を通して、将来の目標の一助とする。 |

| | | | | | |
|--------|---|---------|--|---------------------|-----|
| 対象 | 市内在住者（小学5年生～中学生） | | | | |
| 定員 | 21人 | | | | |
| 受講者数 | 21人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月8日（金） | 薬剤師とは何か、薬剤師になるには？ 漢方薬を使った葛根湯の作り方を見たり、軟膏作りを体験する。 | （株）健栄 コスモ薬局（印西店） | 18人 |
| 参加者合計 | 18人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>当初は、中学生対象の事業として、薬剤師にレッツ・トライ！を計画しましたが、小学校高学年もプラス対象枠としました。募集は、広報掲載も目につきやすい名前として、薬剤師体験から薬剤師にレッツ・トライ！に変更し、ちば電子サービスとスクリレを使用しました。申し込みに、中学生と小学校高学年の兄弟も3組ほどいたため、定員を超えてしまいましたが、受講決定としました。申し込み人数が多ことから、講師の薬剤師が1名から2名になり、コスモ薬局の本部(株)健栄から2名の協力がありました。内容は、薬剤師の仕事内容や資格取得までの道筋、技術を、講座と体験の二部構成となりました。参加者は、白衣を着て、ジュニア薬剤師の「名札」を付け、前半は緊張気味でしたが、漢方で葛根湯作りを見たり、軟膏作りの体験では2種類の軟膏をヘラで混ぜ、容器に入れ、薬袋に名前を記入しました。この体験では、薬剤師の仕事垣間見ることが出来ました。ただ、軟膏作りに時間がかかったため、患者と薬剤師の窓口体験は、時間がなく、全員は経験できずに終了となりました。次年度は、定員を考慮し、小学生と中学生を分け、体験を増やした内容を考えたいと思います。終了時に修了証書を薬剤師から受け取り、この体験が薬剤師にさらに興味を持ち、将来への一助になればと感じました。</p> | | | | |

●部活見学に行こう！成田高等学校【競技かるた部】

| | | | | | |
|--------|--|----------|----------|---------------------|-----------|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 高校生のいきいきとした部活動を実際に見たり、競技等に接する中で、近い将来の期待感や希望を持たせる。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学5年生～中学生） | | | | |
| 定員 | 親子20組 | | | | |
| 受講者数 | 11組 | | | | |
| 受講率 | 55% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 1月31日（土） | 競技かるた部見学 | 成田高等学校競技かるた部（中・高校生） | 6組 11人 |
| 参加者合計 | 6組 | | | | |
| 講座を終えて | <p>今年度は、【競技かるた部】の見学を行いました。季節柄、寒い時期でもあり、受験シーズンでもあるので、申込み数は、定員の半数くらいでした。また流行性感冒による欠席もありました。当日の参加者は、競技かるたに関心が高い親子が集まり、行きバスの中は期待感で満たされていると感じました。会場は、高校側が特別に、かるた部と参加者の為に柔道場を用意して下さり、部員と挨拶を交わしてから、中・高校生部員から競技かるたの歴史やルールが説明されました。緊張しながらも、一生懸命な説明は参加者の心に真直ぐ届いていたと思われます。次に試合を見学するグループと体験（ちらし取り、</p> | | | | |

| | |
|--|--|
| | <p>源平合戦)に分かれました。百人一種の上の句を聞いた瞬間に札を払う音が柔道場に鳴り響き、静寂から動の世界になりました。その後、グループの入れ替えがあると思われましたが、終了となりました。ここで、急遽、予定になかった質問コーナーを要望したところ、受講生から、試合のことや、会場、競技の服装、部活に入った理由などの質問があり、それに対する応答は、参加者と部員にとって意味のあるものとなり、それぞれの収穫になったのではないかと思います。部活見学後は学校見学となり、校長先生が校舎内の施設と高校の歴史を話してくれました。アンケートでは、一層、競技かるたや高校生活に影響されたことが書いてあり、ねらいが達成されたのではと感じました。</p> <p>次年度は、定員を20人とし、学校次第ではありますが、開催時期を検討したいと思います</p> |
|--|--|

●クリスマス会（図書館と共催）

| | | | | | |
|--------|---|----------|---|-------------------------------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 季節に添ったお話や音楽を聴きながら、情操を養い、季節の楽しい思い出を作る。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（こどもと保護者） | | | | |
| 定員 | 67人 | | | | |
| 受講者数 | 67人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月5日（土） | お話（絵本、パネルシアター） クリスマスのうたや音楽 素話、新聞あそび | 図書館職員 小林親子読書会かたつむり 天使の木 | 67人 |
| 参加者合計 | 67人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>令和7年度は、図書館と小林親子読書会かたつむりに加え、小林公民館開館30周年という意味合いも含めて、公民館事業の講師「天使の木」も参加しました。様々なお話だけでなく、天使の木の参加でクリスマスソングや生のピアノ曲、BGMも入ったことで、季節感を添えられたと感じます。</p> <p>反省点としては、共催事業を行う上での、主催者間の共通理解が足りなかったことです。早めに会議を設定し、調整が必要であったと思われます。事前申し込み不要という形は、公民館事業としては初めての試みであり、駐車場や会場の適応人数もあるので、事前申し込み制が良いと感じました。</p> <p>一番のお楽しみはやはりサンタクロースです。その登場に期待しての参加も多いと思われます。簡単なものでも良いので、こどもたちへのクリスマスプレゼントについて、もう少し検討する必要性を感じました。</p> <p>アンケートの結果は、イベントの内容に満足し、また来年も参加したいというものが多かったので、反省点も共有し、次年度はさらにクリスマス感を味わえる内容になればと思います。</p> | | | | |

●第29回 小林カレッジ

| | |
|------|--|
| 事業区分 | 大人対象事業 |
| ねらい | 市民が健康で明るく豊かな生活を送るために、幅広い分野に目を向け、生きがいづくり・健康づくり・仲間づくりの一助を図る。 |
| 対象 | 市内在住者（50歳以上） |
| 定員 | 25人 |
| 受講者数 | 25人 |

| | | | | | |
|--------|--|-----------|---|---|-----|
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 5月24日(土) | 漢字と小林地区 | 河邊 久男 | 19人 |
| | 2 | 6月21日(土) | 著書 灯台旅について | 藤井 和雄 | 21人 |
| | 3 | 7月5日(土) | 香道 ~香の世界~ | 藤乃香 香道直心流 師範 高野 香聖 | 25人 |
| | 4 | 9月20日(土) | シニアヨガと健康の話 一部「運動とお薬の関係について」 二部「座ってヨガ」 | 一部(株)健栄 コスモス薬局 印西店 薬剤師 菅井 遥香 二部 ヨガインストラクター 友井 純子 | 20人 |
| | 5 | 10月1日(金) | 施設見学 竹中工務店技術研究所 | 竹中工務店 職員 | 17人 |
| | 6 | 11月22日(土) | フォトフレームにツールペイントで模様をつけよう | マラライサークル講師 明保能 勝江 | 17人 |
| | 7 | 12月13日(土) | 小林シニア男声合唱団と 歌おう 閉校式 | 小林シニア合唱団講師 木村 奈緒美 | 22人 |
| 参加者合計 | 141人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>第29回 小林カレッジが開催となりました。受講生の申し込みの特徴として12名は(リピーター)、7名(前回からの受講者)、新規6名で男性8名、女性17名で構成され、年代は50代から90代です。前年度受講者からの引き続き申し込みがあったことは、プログラムを高齢者向けに限定せず、あらゆるジャンルに目を向けた成果と感じます。受講生がいつも新鮮な気持ちで学ぶことができるように、同じ内容が重複しないようにと意識しています。開講式は館長挨拶とオリエンテーションを行いました。受講生の自己紹介では、「退職してからの学び直しをしたい」「プログラムが楽しそう」「年齢が近い方が多く安心した」「小林カレッジが生きがいで毎年申し込んでいる」という声が聞かれました。第1回は河邊氏による『漢字と小林地区』という内容で、各地域の歴史や伝説にまつわる漢字の話や漢字の意味を学びました。京都の大文字焼きは、本当は犬だったのではないかという謎めいた説も受講生の興味を引いていたようです。小林近辺の犬の出産やお嫁さんの出産の話、難しい漢字の覚え方等、ホワイトボードに漢字が一面と書かれ、受講生は熱心にメモを取り、学習していました。</p> <p>第2回目は、退職後のライフワークとして日本全国の灯台を巡り、「灯台旅」という写真集を出版している元社員の藤井氏による講座です。小林公民館のロビーで知り合い、この講座に繋がりました。受講生は、退職後の生きがいを探している方も多いため、この講座に参加し、受講生の生きていくヒントになると感じます。灯台の歴史や特徴、様式美は灯台によって違いがある、灯台を日本に持ってきたのはイギリス人であり、灯台の建築様式、ライトもイギリス製であった。現在では、LEDに変わり、昔の温かい光を出すライトはもう使われないそうです。藤井氏が選んだ灯台も映し出され、岬に灯台がなかったら景色はつまらない単調なものになるだろうということでした。受講生からの質問は、灯台守について、灯台が出てくる映画や文学についても話が広がりました。</p> <p>第3回は、日本の伝統というテーマで『香道』を行いました。香道は平安時代に遡り、天然の香木を</p> | | | | |

焚き、立ち上がる香りを文学や四季、情景と結びつけて鑑賞する日本独自の芸道です。立式で香席を作り、講座と2種類の聞香体験をしました。藤乃香 直心流 高野氏のお点前は美しい所作で厳かで静寂が満ちているものでした。初めて、香道に触れる受講者も多かったのですが、この講座を通し、香道の香とともにその時の情景や、静けさの中で自分を見つめ直すということを学習しました。部屋は和室1、2を使い、講座部屋と着物の中に香を炊く伏籠点前、香席に使用のお道具類を飾り、講師のお弟子さんのサポートも受けながら、香道というものに触れた時間でした。

第4回は、(株)健栄 コスモス薬局 講師に、一部は薬剤師から「運動とお薬についての話」、二部は「座ってヨガ」を行いました。受講生は一部の話の念頭に置きながら、二部のヨガをスタートしました。講師の指導のもと、深い呼吸をしながら、腕を左右に曲げる、足を伸ばす、腰を捻る、椅子の後ろでスワットをし、一連の動きが終わると、合掌をします。誰にも無理なく1時間の行程を終えることができました。講師の友井講師は柔らかい印象で、声量もちょうどよく、受講生の年齢や体力に配慮しており、講座はとても好評で、帰りに皆、講師に声をかけていました。もう少し運動を続けられるというタイミングで終了し、受講生はもっとヨガを楽しみたい雰囲気を感じられました。

第5回は、竹中工務店技術研究所の見学。耐震構造や音響設備、現代アート、働く環境など見学をしました。見学中は、担当者へ熱心に質問する受講生もあり、特に人気があったブースはコンサートホールの音響設備の場所でした。見学時間は休憩を所々にいれて、1時間半から2時間、足腰に負担があるグループと普通のグループの2手に分かれて回りましたが、もう少し短いコースでも良かったかもしれません。この施設はアンケートにおいても、見学希望が多かったため、受講生の満足度は高いと感じました。

第6回は、写真フレームにトールペイントで模様を描く内容です。フレームが幅広でないと描けないので、カットした木製ボードをさらに職員が中を写真サイズに電動のこぎりで切り取りました。

フレームの下地塗り、模様モチーフは講師が準備し、当日は、オランダ、ドイツ、ロシアのトールペイントが飾られました。まず、受講者は、3色のフレームと4パターンのモチーフを選択します。講師の指導のもと、絵の具をつけた筆先に注意しながら描いていた姿が印象的でした。手先を動かし、集中するのは、脳内も活性化し、ストレスフリーになるといわれています。全員が時間内に描き終わり、最後は職員がラッカーで仕上げ、次回の最終回に持ち帰ることになりました。

第7回は、公民館の「小林シニア男声合唱団と歌おう」です。発声の仕方を学んでから一班ずつ、合唱団とともに舞台上がり歌いました。合唱は、①ストレス解消（大きな声を出し、リラックス感や精神安定効果を得られる）②筋肉を鍛える（姿勢が良くなる、喉を鍛え誤嚥予防）③脳の活性化（視覚・聴覚を使い、歌の情景を思い出す）など、心と身体、脳にとっても良いそうです。合唱団と歌うことによって、ハーモニーが生まれ、豊かに、元気になるヒントをたくさん頂いた感があります。閉校式では、各自、館長から名前を呼ばれ修了証をもらい、晴れやかな顔で終了しました。「次年度も申し込みます」と声をかけて下さる方が多かったのは、プログラム7回の成果を感じる事ができました。

●美しい世界遺産の話

| | |
|------|--|
| 事業区分 | 大人対象事業 |
| ねらい | 世界遺産を楽しく学ぶ中で、世界遺産の背景にある歴史、文化、自然等の理解を深める。 |
| 対象 | 市内在住・在勤者 |
| 定員 | 各回30人 |
| 受講者数 | 1回目 23人 2回目 30人 |

| | | | | | |
|--------|--|-----------|-----------|----------------------------|-----|
| 受講率 | 1回目 77% 2回目 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 10月25日(土) | 美しい自然遺産の話 | 世界遺産アカデミー 認定講師 西脇 英子 | 23人 |
| 2 | 11月1日(土) | 美しい文化遺産の話 | 30人 | | |
| 参加者合計 | 53人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>印西市では初めての世界遺産アカデミーによる講座です。講師は世界遺産アカデミーの動画を観て、選定しました。もと大手新聞社(出版社)の西脇講師の話は、世界遺産について、歴史上の横と縦のつながり、世界遺産の意味を幅広くとらえていると感じます。広報のタイトルも「美しい」というワードを使い、目をひくタイトルを考えて下さいました。</p> <p>第1回目は、美しい自然遺産の話。当日のレジュメは、講義の抜粋です。自然遺産は、自然の美しさや生態系を保護するものであり、現在、235件登録されています。受講生は、世界遺産に登録されるまでの過程、その登録基準があることを知り、こうして世界遺産が決められるのだと関心を示していました。</p> <p>第2回目は、美しい文化遺産の話。世界各国や日本の文化遺産の他に、負の遺産、無形文化遺産にも話が及び、アンケートにおいては、負の遺産について初めて知ったという受講生も多く、関心が高かったと思います。世界遺産は、世界の平和があってこそ守ることができるということも、今回の講座を終えて、受講生の心に響く言葉でした。実際に、世界遺産検定を受けている受講生も数名いたようです。</p> <p>全2回としましたが、2週続けての参加は、受講生にとってはスケジュールが難しいので、隔週にした方が申し込みはしやすいと感じました。</p> | | | | |

●姿勢をきれいに！ピラティス講座（初級編）

| | | | | | |
|--------|---|----------|---|--------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 胸式呼吸を用いながら、ストレッチを中心とした動きで、体の筋肉をしなやかで丈夫に鍛える運動を体験する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 22人 | | | | |
| 受講者数 | 22人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 5月27日(火) | 身体の歪みをチェックする動き 正しい胸式呼吸の仕方を学ぶ。 | 土井 さやか | 17人 |
| | 2 | 6月3日(火) | インナーマッスル(腹筋、背筋骨盤底筋)を意識する動きを意識する動きを何種類か取り入れ、身体の安定性を意識する。 | | 16人 |
| 3 | 6月10日(火) | | 15人 | | |
| 参加者合計 | 48人 | | | | |
| 講座を終えて | 小林公民館の運動講座としてピラティス講座は、毎年度、人気が高く、年に2回開催し、3回コースとして行っています。広報のタイトルに「姿勢をきれいに！」というワードを入れるのも目を引くポイントになっています。募集に年代は入れてはいませんが、50～70代後半の女性の割合が高いようで | | | | |

| | |
|--|--|
| | <p>す。近年では、夫婦や男性の参加も目立ってきています。講師は、受講生の年齢構成を見ながらメニューを考え、動きは地味ではありますが、はじめての体験者にはきつい面もあるので、講座のスタート時には必ず、「自分の体調に合わせて、無理をせずに行いましょう。」と声をかけています。動きがきつそうな受講生には、側に行き、丁寧で適切なアドバイスを行っています。ピラティスは、常にお腹をへこませている状態をキープしつつ、胸式呼吸で身体をゆっくりと動かしていくので、慣れるまでは時間がかかるが、脂肪燃焼には一番効くといわれています。ピラティスは、骨盤を立たせる、股関節を広げる、背骨を意識しなければなりません、身体の柔軟性もポイントでそれには呼吸が特に重要です。受講生に向けて講師は、一つの動きも持続することによって身体は変わっていくことを強調していました。講師のソフトな教え方と相成り、この講師に教えてもらいたいという声もよく聞きます。今回の受講生は運動体験者も多く、熱心に事業に参加していました。アンケートにおいて、中級コースも作ってほしいという声もあったほどでした。</p> |
|--|--|

●ぽっこりお腹解消！メンズピラティス

| | | | | | |
|--------|---|-----------|---|--------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | <p>男女の骨格差や柔軟性の違いを踏まえ、男性が無理なく参加できるプログラムとして、体幹強化や姿勢改善に効果的な内容を提供する。</p> <p>加齢とともに衰えやすいインナーマッスを鍛え、胸式呼吸と組み合わせることで、お腹まわりの引き締めや姿勢改善につなげること。</p> | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤の男性 | | | | |
| 定員 | 16人 | | | | |
| 受講者数 | 10人 | | | | |
| 受講率 | 63% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 10月5日(日) | インナーマッスの強化による姿勢改善 | 土井 さやか | 10人 |
| | 2 | 10月19日(日) | 胸式呼吸を用いた体幹の安定化 ぽっこりお腹の解消に向けた生活改善のきっかけづくり | | 8人 |
| | 3 | 10月26日(日) | | | 10人 |
| 参加者合計 | 28人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>本講座は、まず参加者が自身の身体の状態を把握し、ストレッチで可動域を広げた後、胸式呼吸を使って負荷を調整しながら体幹を鍛える流れでプログラムを進めました。</p> <p>参加者の年齢層が50代から80代と幅広く、特に70代が大半を占めていました。そのため、無理のない範囲で行える安全なエクササイズを取り入れ、繰り返しの回数も調整するなど、参加者一人ひとりの体力に合わせた講座運営を心がけました。</p> <p>参加者からは「無理なくできて安心した」「高齢者には厳しい動きもあった」「これからも続けたい」「メンズピラティスは画期的だ」など、前向きな意見から率直な感想まで多様な声が寄せられました。これらの声から、高齢者にとってもピラティスが有効であることを改めて実感します。また参加者同士の交流も生まれ、今後のメンズピラティスサークル立ち上げの第一歩になったと感じました。</p> <p>講師は実演を交えながら分かりやすく指導し、動作が難しい受講者へも丁寧にサポートするなど、個々の状態に寄り添った指導が印象的でした。</p> | | | | |

| | |
|--|--|
| | <p>今後は、参加者の負荷をよりきめ細かく調整するとともに、自宅での継続につながる仕組みを取り入れ、受講者が自らサークルを立ち上げるような講座として発展させていきたいと思いました。</p> |
|--|--|

●免疫カアップ！リンパセラピー講座

| | | | | | |
|--------|---|----------|----------------------------------|------------------------------------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | リンパの知識を学びながら、呼吸体操、ヨガストレッチ、リンパマッサージなどを組み入れて、健康な体づくりを体験する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者 | | | | |
| 定員 | 18人 | | | | |
| 受講者数 | 18人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月5日(木) | リンパとは何か 全身のリンパの流し方 呼吸体操 | NPO 法人トータルバランス療法 リンパマスター 秋葉 みどり | 17人 |
| | 2 | 6月12日(木) | 呼吸体操・ストレッチ 二人組で行う上半身のリンパマッサージ | | 17人 |
| | 3 | 6月19日(木) | 総復習 二人組で行う下半身のリンパマッサージ | | 12人 |
| 参加者合計 | 46人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>身体のリンパ節やリンパの流れを学ぶことにより、体温を上げ、免疫を上げることが出来ます。この事業は、講師の説明は、難しい言葉は一切使わず、理解しやすく、身近に健康の大切さを感じることが出来ます。動きも無理がなく、場所を選ばずどこにいても取り入れることができることから、受講生から人気が高いと感じます。毎日、太陽の光を浴び、深呼吸をする、そして鎖骨回りと脇の下のリンパをマッサージすることを一日の始まりにすることが、リンパマッサージへの第1歩であると講師は、語りかけます。身体の四大リンパ節は①鎖骨リンパ節②脇の下③脚のつけね④膝のうしろにあり、汗のかきやすい場所です。リンパマッサージは、肩や鎖骨まわりから、全身くまなくマッサージをしていきます。足の指や足の裏は日々、忘れる場所なので、意識して動かすことが大事です。また、背中では出来ないので、身近な人とマッサージをすることを講師は推奨しています。受講中は、となりの人と手や背中、臀部から足の裏のポイントになる場所もマッサージし合いました。なかには、初めての相手とのマッサージにおいて遠慮している様子も伺えました。</p> <p>アンケートにおいては、全身にリンパがあるということを知り、リンパを流すことが身体にとっても良いことがわかったと好評でした。</p> | | | | |

●季節のフラワーアレンジメント

| | |
|------|------------------------------|
| 事業区分 | 大人対象事業 |
| ねらい | 季節感のある作品を作りながら、花のある生活空間を楽しむ。 |
| 対象 | 市民在住・在勤者 |

| | | | | | |
|--------|---|-----------|------------------------|----------------|-----|
| 定員 | 各回16人 | | | | |
| 受講者数 | 1回目 16人 2回目 16人 | | | | |
| 受講率 | 1回目 100% 2回目 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 10月4日(土) | カボチャがのぞく楽しいフラワーアレンジメント | 野の花クラブ 榎 倫子 | 16人 |
| | 2 | 11月29日(土) | キャンドル灯る大人なXmas アレンジメント | | 16人 |
| 参加者合計 | 32人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>1回目は「ハロウィン」をテーマとし、アートフラワーと生花をミックスした作品を計画しました。見た目も愉快であり、材料も豊富だったので、受講生も作る過程を十分に楽しめたのではないかと思います。黒い猫が飛び出したり、乾燥したオレンジを月に見立てたり、だれもが集中して、小粋なハロウィンの作品に仕上がりました。講師は一人ひとりの作品をみて、個人の特性を生かしながら、花材が詰めすぎの場所や高低差などを中心にアドバイスしていました。アンケートでは、講師のアドバイスが好印象という結果も出ています。</p> <p>2回目の「キャンドル」を中心とした作品は、担当と講師でよく相談をしながらスタイルを決めました。本来ならば、アートのもみの木ではなく、天然のもみを使い、森の香りで癒しの効果もねらいたかったのですが、材料費の関係もあり、今回はアートフラワーとなりました。主役のキャンドルはイメージ通りの太目でシックなグレー、その他の細かい飾りの色合いも調和し、大人で素敵な作品となっています。アンケートにおいて、受講生も作品を創り上げていく時間が何よりも楽しかったと多くの感想をもらいました。講師の作品を気に入り、サークルに参加したいという受講生も数名いました。</p> | | | | |

●小林公民館30周年記念イベント

| | | | | | |
|-------|--|-----------|-------------------------------|---|-----|
| 事業区分 | 市民対象事業 | | | | |
| ねらい | 小林公民館の開館30周年を記念し、「小林コミュニティまつり」のプログラムとして、主催事業で活躍している講師の出演による記念イベントを行い、公民館の活動などをいろいろな世代に広く知ってもらうきっかけとする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者 | | | | |
| 定員 | — | | | | |
| 受講者数 | — | | | | |
| 受講率 | — | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 11月15日(土) | 「みんなでコンサート」 ピアノと声楽による癒しの演奏 | 天使の木 うた山崎 佑希子 ピアノ 市川 未緒 ピアノ 堀野 りか | 30人 |
| | 2 | 11月15日(土) | 「祝30!懐かしの歌」 | カラフルスタイル ギター、ボーカル 武藤 浩 パーカッション 武藤 由美子 ギター 神田 正子 フルート 佐伯 咲 | 40人 |

| | | | | | |
|------------|---|-----------|----------------------------------|---------------------------|-----|
| | | | | フルート ドラミ | |
| | 3 | 11月16日(日) | 「大人の新体操」 アマラール with SAYAKA | 土井 さやか 加藤 みのり アマラール | 50人 |
| 参加者合計 | 120人 | | | | |
| 講座を 終えて | <p>この事業は、前館長が発案し、事業担当が内容を計画、そして講師にイメージを何倍にも膨らませてもらった結果、開館30周年を記念する意味のある記念行事となりました。</p> <p>15日(土)は2組が登場。「天使の木」は乳幼児向けから大人に至るまで活動が幅広く、今回は、どの年代も口ずさめる唱歌を多く選曲しました。生のピアノ曲や連弾、山崎氏のソロ曲、そして春から冬までの四季の曲を来場者と歌い、座っている方が多い中、立ち上がって浪々と歌う方もいました。この出演が縁となり、次年度、他団体から出演依頼もあり、市民に講師を知ってもらうきっかけとなりました。</p> <p>月に一度、ロビーコンサートをしているお馴染みの「カラフルスタイル」ですが、今回はフルートの二人を入れて、小林公民館が開館してからの30年間の中からの歌の選曲や、まつりとして盛り上がる曲で楽しませてくれました。北島三郎の「まつり」からスタートし、ラストは「マツケンサンバ」。さらにフルートの音の相乗効果もあり、楽しい雰囲気にも包まれた時間でありました。</p> <p>16日(日)のまつりのラストは、「大人の新体操アマラール with SAYAKA」です。土井さやか氏は公民館のサークルや主催事業の講師として活躍中の講師です。今回のイベントでは、総勢6名での新体操の演技となりました。プログラムは、各講師のソロの演技、アマラール4名の演技、新体操で使う道具のクイズなどの構成でした。</p> <p>幕間の時間は、職員が来客に感想をインタビューしながらつなぎ、来場者との触れ合う時間にもなりました。普段、演技を観ることのない大人の新体操であったので、まつりのラストにふさわしく華を添えられたと感じます。</p> | | | | |

●初心者のためのスマートフォン講座

| | | | | | |
|-------|---|---------|--|-------------------------------------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | <p>地図アプリ等から基本的なスマートフォン操作を学び、生活の利便性を向上させる。</p> <p>詐欺対策を習い、安全にスマートフォンを使うための知識を身につける。</p> <p>QRコードの読み取り実習を行い、デジタル社会への参画の支援を行う。</p> | | | | |
| 対象 | 市内在住者 | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 18人 | | | | |
| 受講率 | 90% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 2月3日(火) | 地図アプリを使い遊びから基本操作を学ぶ。 詐欺対策 QRコードの読み取り実習 | ソフトバンク派遣講師 小野 準 他アドバイザー 3名 | 18人 |
| 参加者合計 | 18人 | | | | |
| 講座を | 今回の講座では、地図アプリを使った基本操作から、詐欺対策、QRコードの読み取り実習まで、日 | | | | |

| | |
|------------|--|
| <p>終えて</p> | <p>常生活に直結する内容を実践的に学んでいただきました。参加者は70歳以上が中心で、初めて触れる機能も多かったようで、講師・アドバイザーのサポートもあり、積極的に操作を試す姿が多く見られました。</p> <p>特に地図アプリを使った基本操作では、Google マップの3D表示機能を使い、画面上で都市を立体的に眺めたり、上空から景色を見下ろしたり、360度ビューを使い旅行に行ったような体験をしました。参加者からは「こんな機能があるなんて知らなかった」といった声上がり、スマートフォンへの興味や活用意欲が大きく高まったように感じることができました。</p> <p>また、目的地検索やストリートビューの使い方を実際に操作しながら体験することで、日常生活で活用できる実感を得ていただいたと思います。</p> <p>詐欺対策では、実例を交えて注意すべきポイントを紹介したことで、参加者の防犯意識がより高まったように感じました。</p> <p>QRコードの読み取り練習では、ちば電子申請サービスを使い公民館主催事業への模擬申込を行いました。参加者が操作に戸惑う面もあり予定以上の時間を要してしまいましたが、少しでもデジタルサービスへの抵抗感が和らいでいただいたら、この講座を企画した大きな成果といえます。</p> <p>講師は、スマートフォンを身近に感じるテクニックを駆使して、「スマホ＝難しい」という感覚を「楽しい！」に変える工夫を随所に盛り込みご説明いただきました。</p> <p>本講座の受講者数・出席率が高かったことから、市民の関心が高いテーマであると改めて確認できた。世の中でDX化が進み行政サービス等も電子化されるなか、高齢者がデジタル社会で取り残されないための講座、説明会等の企画が今後必要になると改めて感じる講座となりました。</p> |
|------------|--|

●小林アンプラグドミニミニコンサート

| | | | | | |
|-------|--|-----------|---------------|----------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 地域で活躍する個人や団体に発表の機会や地域の交流の場として、公民館と参加者、出演者が皆で作っていくコンサートとする。 音楽をとおして地域の活性化に繋げていく。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者 | | | | |
| 定員 | — | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 4月 9日(水) | テーマ 春のうた | 齋藤 和夫 | 5人 |
| | 2 | 4月16日(水) | 演奏(参加者リクエスト式) | カラフルスタイル | 25人 |
| | 3 | 5月15日(水) | | | 25人 |
| | 4 | 6月18日(水) | | | 21人 |
| | 5 | 7月 2日(水) | テーマ 夏のうた | 齋藤 和夫 | 3人 |
| | 6 | 7月16日(水) | 演奏(参加者リクエスト式) | カラフルスタイル | 24人 |
| | 7 | 8月20日(水) | | | 13人 |
| | 8 | 9月18日(水) | | | 17人 |
| | 9 | 10月14日(水) | | | 17人 |
| | 10 | 11月19日(水) | | | 15人 |
| | 11 | 12月10日(水) | テーマ 祈りとクリスマス | 齋藤 和夫 | 13人 |
| 12 | 12月17日(水) | | カラフルスタイル | 16人 | |

| | | | | | |
|------------|---|----------|---------------|----------|-----|
| | 13 | 1月21日(水) | 演奏(参加者リクエスト式) | | 23人 |
| | 14 | 2月18日(水) | | | |
| | 15 | 3月11日(水) | ※予定 | 齋藤 和夫 | |
| | 16 | 3月18日(水) | ※予定 | カラフルスタイル | |
| 参加者合計 | 217人 | | | | |
| 講座を 終えて | <p>小林地域に根付いたコンサートであり、音楽を聴き、共に歌うことで参加者に一体感が生まれ、月に一度のコンサートを楽しみにしている参加者が多いという印象です。小林地区の住人や演奏者、公民館の職員と一体感が生まれ、コミュニケーションや情報発信の場にもなっています。</p> <p>この事業が続いているということは、地域の住民や出演者が大切にこのコンサートを位置付けているということであると思います。職員は、主旨を理解し、公民館と地域住民との懸け橋となる存在でありたいと思います。</p> <p>また高齢者も多く聴きにくるので、その場を安全に見守るよう努めています。</p> | | | | |

3. そうふけ公民館事業計画

| 当初計画（令和7年3月公運審） | 変更点 |
|----------------------|----------------------|
| こども対象事業 | |
| 1. おこづかいから学ぶお金の話 | |
| 2. プラネタリウムで星をみよう | |
| 3. 科学あそび | 7月→8月へ実施月変更 |
| 4. 北総鉄道見学 | |
| 5. テレビ局の仕事をのぞいてみよう！ | |
| 6. イラスト講座 | |
| 7. スポーツキッズ | 7月→11月へ実施月変更 |
| 8. ふれあい大会 | |
| 9. おはなし会スペシャル | |
| 大人対象事業 | |
| 1. 将来に向けて知っておきたいお金の話 | |
| 2. スマホ講座 | |
| 3. 順天堂大学さくらキャンパス見学 | |
| 4. 体幹をきたえよう！ | |
| 5. お正月飾りを作ろう！ | |
| 6. 子どもが喜びおかずケーキ | 講座名「子どもが喜びおかずケーキ」に変更 |

●おこづかいから学ぶお金の話

| | | | | | |
|--------|--|---------|----------------------------|------------|-----|
| 事業参加者 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 将来に向けてお金の基礎知識について学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学4年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 10人 | | | | |
| 受講率 | 50% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施予定月 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月7日（土） | お金について、使い方や貯め方、トラブルについて学ぶ。 | 金融経済教育推進機構 | 9人 |
| 参加者合計 | 9人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>お金の使い方について、家族と相談して使い道を決めることや、おこづかい帳で管理することが大切というアドバイスをいただきお金の大切さが理解できたようでした。保護者の参観も受け入れたところ半数くらいが受講していました。</p> <p>令和6年度末計画時は社会情勢的に株・投資がブームとなり、人気の講座になることを期待して「お金についての講座」をこども対象と大人対象の2講座を計画しましたが、結果受講生の集客に苦慮いたしました。時代のブームに対応した講座は、時期や年代、地域性を考慮し計画することが重要だと再確認しました。</p> | | | | |

●プラネタリウムで星をみよう（児童館と共催）

| | | | | | |
|--------|---|----------|--------------------------|-------------|----------------------------|
| 事業参加者 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 自然科学を体験し楽しさを学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生と保護者） | | | | |
| 定員 | 午前の部 20組 午後の部 各20組 | | | | |
| 受講者数 | 午前の部 20組 午後の部 各20組 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月30日（水） | 移動プラネタリウムによる星空見学を親子で楽しむ。 | つくば科学万博記念財団 | 午前の部 17組 午後の部 18組 |
| 参加者合計 | 午前の部 17組 42人 午後の部 各18組 43人 計35組 85人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>今年度は保護者との参加とし、共通の体験をすることで更に星空に興味関心を深めて家族と楽しんで欲しいという目的としました。アンケートからも「一緒に楽しめた」という感想を多くいただきました。ちば電子申請サービスのみ（先着順）の申し込みで、両時間とも募集日の7月1日に定員となりました。今年度で3年目の実施となり定着化され、目玉の事業となってきました。保護者へ2次元コード付きのアンケート用紙を受付時に配布しましたが10名のみの回答で終わりました。ドーム内は暗く子どもを待たせられないということから、その場で2次元コードを読んでもらう等の勧奨ができません回収率や方法については今後の課題となりました。</p> | | | | |

●科学あそび（図書館と共催）

| | | | | | |
|--------|--|---------|----------------------|-------|-----|
| 事業参加者 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 身近な材料を使って科学を学べる工作や実験を行い、楽しみながら科学を学ぶ。また科学体験を通して新たな発見や物づくりの楽しさ味わう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学3年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 16人 | | | | |
| 受講者数 | 16人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月1日（金） | 楽しみながら科学を学ぶ工作、実験をする。 | 松田 治久 | 14人 |
| 参加者合計 | 14人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>集合してきた参加者に講師が積極的に声をかけていたので、ほぐれた雰囲気の中で開始することができました。紫キャベツの液に、重曹水、石けん水、水、レモン水、酢をそれぞれスポイトでカップに移す作業も集中して行い、色の変化を記録用紙に書ききれないほど記入していました。</p> <p>今年度は、ちば電子申請で抽選方式にしたところ、申込者は52人となりました。来年度は小倉台図書館が改修工事のため休館になることを考えると、そうふけで同じ日に2回行うことも検討していきたいと思います。</p> | | | | |

●北総鉄道見学（中央公民館と共催）

| | | | | | |
|--------|--|----------|---------------------|------------|-----|
| 事業参加者 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 北総鉄道印旛車両基地の車両を見学し、地域の交通について学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学4年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 25人 | | | | |
| 受講者数 | 25人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月21日（木） | 北総鉄道印旛車両基地の車両を見学する。 | 北総鉄道株式会社職員 | 24人 |
| 参加者合計 | 24人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>そうふけ公民館、中央公民館に分かれ見学し、車両基地車庫では検査点検方法の説明を受け、安全が守られていることの確認もできたようでした。車内見学では車両洗車を体験し、その後車内アナウンスや、普段乗客としては触ることのできない車内非常通報装置のプザーを自由に押して楽しい中にも重要性についても学ぶことができました。興味の差はありましたが、全体的に落ち着いて見学し、質問を積極的にしている姿も見られました。撮影可としたことで、デジカメやスマホをほとんどの子が持参していました。</p> <p>申し込み方法は、2次元コードからのちば電子申請サービスによる申し込みのみで、58件64名の申し込みがあり抽選となりました。スクリレの効果で2次元コードからの申し込みは、若い層に定着してきたようです。先着順ではなく抽選にしたことで、落選者が待機者として確保でき、キャンセル対応もスムーズにできました。</p> | | | | |

●テレビ局の仕事をのぞいてみよう！

| | | | | | |
|--------|--|----------|--|-----------|-----|
| 事業参加者 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | メディア企業による番組制作の舞台裏話やロールプレイングによるアナウンサー体験を通し、メディアの仕事を学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学4年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 38人 | | | | |
| 受講者数 | 38人（募集の結果、講師と相談し全員受講とした） | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施予定月 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 9月20日（土） | アナウンサー・ディレクターなどの体験を通し、テレビの裏側の仕事について学ぶ。 | 株式会社テレビ朝日 | 34人 |
| 参加者合計 | 34人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>前半はVTRを観ながらテレビのニュースができるまで、後半はアナウンサー、ディレクター、タイムキーパーの役割に分かれて実践しました。講師から仕事内容のポイントの指導を受け、机ごとに3人1組で役割を決めました。時間内にアナウンスを収めるという課題に、それぞれの役割の意味やチームとしての協同作業、1秒の大切さを体験し、初めてのこども達にもうまくいった時の達成感や、うまくいかなかった時の課題がわかりやすい体験となりました。受講者を増員したことで、時間</p> | | | | |

の延長や、飽きてしまうのではと心配しましたが、予定していた時間内に終了し、他のグループの発表も傾聴していました。参観した保護者にも回収率をあげるためその場で2次元コードのアンケートを読み込んでもらい、回答から好評だったことが確認できました。

●イラスト講座

| | | | | | | |
|--------|--|---|----------------------------------|-------|-----|--|
| 事業参加者 | こども対象事業 | | | | | |
| ねらい | 漫画家講師から指導を受け、漫画が上手に書けるアドバイスをしてもらい、知識や技術・技能に触れることを通じて楽しみながら達成感を味わう。 | | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生以上） | | | | | |
| 定員 | 8月：ペン入れコース25人 ステップアップコース15人 12月：ペン入れコース30人 ステップアップコース15人 | | | | | |
| 受講者数 | 8月：ペン入れコース25人 ステップアップコース15人 12月：ペン入れコース30人 （募集の結果、講師と相談し定員増とした） 12月：ステップアップコース14人 | | | | | |
| 受講率 | 8月：ペン入れコース100% ステップアップコース100% 12月：ペン入れコース100% ステップアップコース 93% | | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 | |
| | 1 | 8月5日（火） | 講師の用意した下書きにペンを入れて、漫画の下書きを仕上げていく。 | 栗原 静香 | 25人 | |
| | 2 | | 自分で描いたイラストを添削してもらう。 | | 16人 | |
| | 1 | 12月25日（木） | 講師の用意した下書きにペンを入れて、漫画の下書きを仕上げていく。 | | 28人 | |
| | 2 | | 自分で描いたイラストを添削してもらう。 | | 13人 | |
| | 参加者合計 | 8月 ペン入れコース25人 ステップアップコース16人 8月計 41人 12月 ペン入れコース28人 ステップアップコース13人 12月計 41人 合計82人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>ペン入れコースでは、先生が用意した絵をペンでなぞって影の入れ方や線の強弱など、上手にペン入れできるコツを教えてくださいました。集中時間としては1時間が限度のようでした。ステップアップコースでは、自分で描いたイラストをみんなでみて、上手にかけるアドバイスを共有しました。ポジティブシェイプ（シルエット）を想像して余白を少なく、手や足の角度などは写真を撮ってよく見て、左右対称、紙いっぱい描くことなどを観点に指導をうけました。</p> <p>8月、12月とも「ちば電子申請サービス2次元コード」のみで募集（抽選）としました。8月は①ペン入れコース申し込み者は72人、②ステップアップコースの申し込み者は34人と倍率が2倍以上となったことから、12月は会場を広くし保護者の参観も可として募集したところ、①は58人②は14人の申し込みがありました。①に関しては講師と協議の結果、定員を増やし決定としました。多くの申し込みがあったことについては、定着した事業となったことと、スクリーンでの周知が効果的だったと考えております。</p> | | | | | |

●スポーツキッズ（児童館と共催）

| | | | | | |
|--------|---|-----------|--------------------------------|-------|-----|
| 事業参加者 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 児童期の運動神経がよくなるコツを遊びながら体得し、併せて地域の仲間づくりをする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学1年生～3年生） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 20人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施予定月 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 11月29日（土） | バランスボール、風船等を使いながら音楽に合わせて体を動かす。 | 保育課職員 | 17人 |
| 参加者合計 | 17人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>バランスボールドッジボール、バルーンドリル、リズムジャンプなど「目で見て、耳で聞いて、頭で考えチャレンジする」メニューは、運動能力向上やけがの予防、集中力アップに効果があり、遊び感覚で取り組み楽しい雰囲気の中であっという間に時間が過ぎたようでした。保護者の参観を受け入れプロジェクターで指導の意図を説明したので、運動能力を高めるポイントを確認しながら興味津々で子どもの様子を観ていました。講師は常に「いいね！」「できた、できた！」「いい動きしているね！」などと言葉をかけ、やる気が出る言葉がけの配慮がみられました。</p> <p>アンケートは2次元コードからの回答のみとし、若い世代の保護者ということもあってか回答率は86%でした。</p> | | | | |

●ふれあい大会

| | | | | | |
|--------|--|-----------|-----------------------------|-------------|-----|
| 事業参加者 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 親子のふれあいを目的に、スポーツを楽しむ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生） | | | | |
| 定員 | 親子10組 | | | | |
| 受講者数 | 親子10組 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月21日（日） | スポーツによるふれあい大会（モルック）を親子で楽しむ。 | 船穂・そうふけ支部社協 | 7組 |
| 参加者合計 | 7組 32人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>モルックは3人1組の競技であることから未就学児3人の兄弟も当日参加可能としましたが、それなりに楽しむことができたようでした。目的でもある親子のふれあいという観点も達成し、笑顔があふれた講座となりました。室内競技は、天気にも左右されることなく実施できるのも利点の一つと考えます。社協でモルックの推進に力を入れており、昨年からのリピーターも多く、アンケートの感想からも来年も継続事業として実施する方向で計画したいと思っております。</p> | | | | |

●おはなし会スペシャル（図書館と共催）

| | | | | | |
|-------|-------------------------------|--|--|--|--|
| 事業参加者 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 絵本の読み聞かせをすることで、物語の楽しさを感じてもらう。 | | | | |

| | | | | | |
|--------|---------------------|----------|-----------------|-----------------|-----|
| 対象 | 3歳から小学生低学年、またはその保護者 | | | | |
| 定員 | 70人 | | | | |
| 受講者数 | | | | | |
| 受講率 | | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 2月28日(土) | 人形劇・パネルシアターを観る。 | 市内読書団体 りんごの木 | |
| 参加者合計 | 人 | | | | |
| 講座を終えて | | | | | |

●将来に向けて知っておきたいお金の話

| | | | | | |
|--------|--|----------|-----------------------------------|----------------|-----|
| 事業参加者 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 将来設計や夢をかなえ、生活を豊かにしてくれる「お金」について資産形成の基礎知識を学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者(18歳以上) | | | | |
| 定員 | 30人 | | | | |
| 受講者数 | 9人 | | | | |
| 受講率 | 30% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月21日(土) | 資産形成の基本から貯める、増やす、金融トラブル等お金について学ぶ。 | 金融経済教育 推進機構 | 6人 |
| 参加者合計 | 6人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>資料に基づきプロジェクターを使用した説明で100ページもある資料の説明がありましたが、ボリュームがありすぎて時間が足りなく、後半の資産形成の制度(NISA等)の話が詳しく聞きたかったとの意見がありました。受講者は子育て世代が多かったのかメモを取り真剣に耳を傾けていました。</p> <p>こども対象事業同様大人対象のお金に関する講座についても、受講生の集客に苦慮いたしました。計画時と実施時の社会情勢やブームを考慮し計画することが重要だと再確認しました。</p> | | | | |

●スマホ講座

| | | | | | |
|--------|---|---------|------------------|----------------|-----|
| 事業参加者 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | スマートフォンの使い方について学び、生活を豊かにする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者(18歳以上) | | | | |
| 定員 | 23人 | | | | |
| 受講者数 | 23人(募集の結果、講師と相談し全員受講とした) | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施予定月 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月9日(水) | スマホ講座(基本と防災)を学ぶ。 | ソフトバンク 株式会社 | 18人 |
| 参加者合計 | 18人 | | | | |
| 講座を終えて | 前半は基本的なアプリについての説明。地図アプリを使ってパリ旅行、写真の撮り方、音声での検索 | | | | |

| | |
|-----|--|
| 終えて | <p>方法、2次元コードコードの読み取り方法等を学びました。</p> <p>後半の防災の説明では「Yahoo!防災速報」アプリを使って災害マップ、避難所の確認、ハザードマップ等の見方について学びました。アプリから災害についての知識や地域の防災情報が得られるので、災害時はまず命を守るために迅速な行動がとれるよう、普段からスマホアプリに慣れておくことが大切であると痛感しました。</p> <p>募集にあたり、電話・窓口での申し込みが17人 電子申請が6人、計23人でした。広報誌から情報を得ている70歳以上の方が多くアンケートからわかりました。2次元コードコードからも講座の申し込みができることを伝え、電子申請を推進していきたいと思います</p> |
|-----|--|

●順天堂大学さくらキャンパス見学

| | | | | | |
|--------|---|----------|---------------------|-------------|-----|
| 事業参加者 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 生活する印西市内の施設見学等をとおして、印西市の良さを再確認する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者（18歳以上） | | | | |
| 定員 | 30人 | | | | |
| 受講者数 | 30人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 9月12日（金） | 順天堂大学さくらキャンパスを見学する。 | 順天堂大学 職員 | 30人 |
| 参加者合計 | 30人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>行程は、健康に関する講和（涌井 佐和子先任准教授）→学食体験→施設見学→啓友館（順大グッズ買い物）で、翌日から行われる世界陸上出場のオーストラリア・ニュージーランドの選手が事前練習をしているという情報を得て、ますます興味がわいての見学となりました。施設見学は3グループに分かれ各グループ学生2人が案内してくれました。オリンピック選手を輩出した体操競技場や、数々のトロフィーやオリンピックのユニフォーム、種目別の体育館、プール、市民にも開放している診療所（内科・外科）等も見学することができました。参加者からは「学生の説明が良かった」「有意義な時間だった」という感想が多数ありました。</p> <p>募集については、2次元コードと窓口電話受付を併用としましたが、大人事業では併用が望ましいと考えます。アンケートは、2次元コードからと紙との2種類用意し、10名は2次元コードからの回答が得られました。</p> | | | | |

●体幹をきたえよう！

| | | | | | |
|-------|------------------------------------|-----------|-----------------------|--------|-----|
| 事業参加者 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 体幹ストレッチを学びながら、今後の健康づくりに活かすきっかけとする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者（18歳以上） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 20人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 10月29日（水） | 正しい姿勢、腰痛予防、疲れにくくなる体幹を | 土井 さやか | 20人 |

| | | | | |
|--------|---|-----------|--|--|
| | | 鍛える方法を学ぶ。 | | |
| 参加者合計 | 20人 | | | |
| 講座を終えて | <p>先生の指導も優しく丁寧で充実した時間となったようでした。年齢層も30代から80代と幅広く、それぞれに対応した言葉をかけ和やかなムードの中で実施することができました。</p> <p>申し込み方法は二次元コードの他、窓口と電話受付を併用しました。20名定員のところ、39名の申し込みがあり抽選となりました。半数がちば電子申請サービスからの申し込みでした。アンケートについても二次元コードからと紙を併用としましたが、16名の方から二次元コードから回答を得ることができました。</p> | | | |

●お正月飾りを作ろう

| | | | | | |
|--------|--|-----------|-----------|-------|-----|
| 事業参加者 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 実際にわらを萎えて自分のお正月飾りを作り日本の生活文化を感じる。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者（18歳以上） | | | | |
| 定員 | 17人 | | | | |
| 受講者数 | 17人（募集の結果、講師と相談し全員受講とした） | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 11月19日（水） | お正月飾りを作る。 | 愛郷クラブ | 16人 |
| 参加者合計 | 16人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>しめ飾り作りの工程は、わら^なを萎える、巻き付ける、三つ編みをするなど普段体験することのできない作業をていねいに指導していただき、大変有意義な時間を過ごせたようでした。わらは、特別にたねをまき、7月に刈り取り、8月に天日干して乾燥させ、手間をかけて準備していただいた過程の話を事前にしていただいたことにより、参加者の取り組みの気持ちが神聖なものとなり、全員心のこもったお正月飾りを完成することができました。アンケートからリピーターの参加者が半数近くいることがわかりました。</p> <p>そうふけ公民館は申込多数の場合は抽選としましたが、他館の同事業は先着順で受け付け、参加できなかった方がそうふけに申し込みをしてきている様子でした。抽選の場合はキャンセル待ちが確保でき、先着順は即決というそれぞれの利点を考慮し来年の募集方法を検討したいと思います。</p> | | | | |

●こどもが喜ぶおかずケーキ

| | | | | | |
|-------|----------------------------|-----------|------------------------|-------|-----|
| 事業参加者 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 季節に合わせた野菜を使って、毎日の食事を豊かにする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者（18歳以上） | | | | |
| 定員 | 16人 | | | | |
| 受講者数 | 11人 | | | | |
| 受講率 | 69% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月12日（金） | 季節の野菜を使って、おいしく簡単にこどもが喜 | 平野 郷子 | 9人 |

| | | | | |
|--------|--|-----------|--|--|
| | | ぶ料理作りを学ぶ。 | | |
| 参加者合計 | 9人 | | | |
| 講座を終えて | <p>ケーキサレ（おかずケーキ）は、最小限の調味料しか使わず、野菜そのものの味が感じられるメニューでした。健康志向の彩り豊かな出来上がりで、手軽にできるクリスマス料理として好評でした。会食は和やかな雰囲気の中で先生から食についての話も伺うことができました。調理の手順は一品ずつ実践しながら説明があり、栄養分の話もおりませながらわかりやすかったです。</p> <p>アンケートは二次元コードと紙を併用しましたが、メニューの内容から若い世代をターゲットとしスクリレも配信しましたが、スクリレからの申し込み者は1人で、あとは広報からの情報取得者でした。平日の昼間料理教室に参加できる対象者は中高年の主婦層であることが確認できました。また、料理講座は、材料準備の観点からキャンセルへの対応が課題となりました。</p> | | | |

4. 印旛公民館

| 当初計画（令和7年3月公運審） | 変更点等 |
|-----------------|--|
| こども対象事業 | |
| 1. 親子カヌー教室 | |
| 2. 夏休み工芸教室 | |
| 3. 夏休み科学教室 | |
| 4. 印西の民話を学ぼう | 実施日を12月→1月17日（土）に変更 事業名を「昔々から始まるおはなしの会」に変更 対象者を「市内在住の小学生と保護者」から「市内在住者」に変更 定員を「10組20人」から35名に変更 |
| 5. 書初教室 | 事業名を「冬休み書き初め教室」から変更 |
| 6. 親子おもしろレク体験 | 新規 |
| 7. 親子で学ぶお金の基本講座 | 新規 |
| 大人対象事業 | |
| 1. みんなのいけばな教室 | |
| 2. 癒しのアロマ | |
| 3. スワッグ作り体験 | 新規 |
| 4. はじめてのyoga | |
| 5. 東国三社詣 | 新規 |
| 6. おとなの工芸教室 | |
| 7. 竹あかり教室 | |

●親子カヌー教室

| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
|-------|--|------------------|---|-----------------|------------|
| ねらい | 印西市民に最も身近な水辺である印旛沼の近くのプールで、親子でカヌーの操縦に挑戦する。午前は小学1年生～3年生と保護者・午後は小学4年生～6年生と保護者を対象に2部制で行い、親子で絆を深めつつ、自然と触れ合う大切さと喜びを味わう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生と保護者） （午前の部は小学1年生～3年生と保護者、午後の部は小学4年生～6年生と保護者） | | | | |
| 定員 | 各部12組24人 | | | | |
| 受講者数 | 第1回（午前の部） | 12組24人 | 第2回（午後の部） | 12組24人 | |
| 受講率 | 第1回（午前の部） | 100% | 第2回（午後の部） | 100% | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月5日（土） ※午前の部 | 実際にカヌーに乗って操縦の方法を学び、自然と触れ合う大切さと喜びを分かち合う。 | I S Jカヌー 同好会 | 8組 16人 |
| | 2 | 7月5日（土） ※午後の部 | | | 10組 21人 |
| 参加者合計 | 18組 37人 | | | | |
| 講座を | 当日は日差しが強く、開講の挨拶で水分補給の励行と体調不良時の速やかな申告を伝えました。午前 | | | | |

| | |
|-----|--|
| 終えて | <p>の部では、水の事故を防ぐため、念入りの準備体操を行い、救命胴衣を着用した上で、親子と指導員がマンツーマンでパドルの使い方やカヌーの乗り方などの指導を行いました。こどもたちは単独でカヌーに挑戦し、その後保護者と交代して練習を行いました。親子で2つのグループに分かれてプール内を漕ぎ回り、衝突や反転もありましたが、指導員のおかげで怪我もなく楽しむことができました。集合写真の撮影後には、スライダーを使ったプールへの飛び込み体験があり、水しぶきを楽しみました。午後の部も午前と同様の内容で進行了。一年生も参加しましたが、指導員の手厚いサポートにより特に問題なく参加できました。参加者からは次回への参加希望の声も多く、天候や安全対策にも恵まれ、充実したイベントとなりました。</p> <p>なお、ISJとは平成9年（1997年）に同好会が設立された際に関係があったI（印旛村教育委員会）、S（酒々井町教育委員会）、J（順天堂大学）の3つの頭文字です。</p> |
|-----|--|

●夏休み工芸教室

| | | | | | |
|--------|---|---------------------------|--|-------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 自分の手でオカリナ（土笛）や竹細工（竹かご）を作りあげることで、創意工夫を促し、豊かな感性を養い、ひとつの工芸作品を作り上げる喜びを味わう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生） （小学1年生～3年生の場合は工作の難易度が高いため、保護者の付き添いを要する） | | | | |
| 定員 | 各部10人 | | | | |
| 受講者数 | オカリナの部 10人 | | 竹細工の部 10人 | | |
| 受講率 | オカリナの部 100% | | 竹細工の部 100% | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月2日（土） ※オカリナの部 1日目 | 粘土を使い、釘や接着剤等を一切使うことなく、粘土を固めてオカリナの形を作り上げる。形が出来上がった翌日まで1日置いて乾かす。 | 間野 政勝 | 9人 |
| | 2 | 8月3日（日） ※オカリナの部 2日目 | 前日に作ったオカリナの原型に穴を開けて、穴の大きさに奏でられる音の高低を調整し、ひとつのオカリナを作り上げる。 | | 9人 |
| | 3 | 8月9日（土） ※竹細工の部 | 約20本の竹ひごを使い、釘や接着剤等を一切使うことなく、竹ひごを編み合わせることでひとつの竹かごを作り上げる。 | | 10人 |
| 参加者合計 | 28人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>夏休み工芸教室としてオカリナ作りと竹細工を開催しました。オカリナ作りの初日には、参加者全員が集合時間に集まり、オカリナと楽譜が配布されました。吹き方の指導を受けた後、参加者は粘土でオカリナの形を作成し、吹き口の位置を決めました。本体を二つに分けたところで、一日目は終了しました。二日目には、オカリナをくりぬき、接着して名前を彫る作業を行いました。参加者が熱心に取り組む姿が印象的でした。</p> <p>一方、竹細工教室では、参加者が深いかごと浅いかごのどちらかを選び、竹ひごが配布されました。編む手順が難しいため、高学年でも保護者の助けが必要でしたが、皆が見事に竹かごを完成させました。</p> <p>竹ひごの作成実演と体験も行われ、参加者は興味津々に取り組みました。特に、竹を割る体験に参加</p> | | | | |

| | |
|--|--|
| | <p>したこどもたちは、成功した際の喜びを感じ、保護者から称賛を受けていました。</p> <p>オカリナ作りと比較して竹細工の方が難易度は高かったですが、参加者は充実した時間を過ごせたようでした。参加者アンケートからも、その満足度の高さを窺うことができました。</p> |
|--|--|

●夏休み科学教室

| | | | | | |
|--------|--|--|--|--------------------------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 小学生の理科離れが叫ばれて久しい中、身近にある材料を使い、理科を楽しく学べる工作物を作り上げ、ひとつの作品を作り上げる喜びを味わうと同時に、理科の面白さを再認識する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学4年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 各16人 | | | | |
| 受講者数 | 平日版 こども21人 保護者13人 | | 休日版 こども10人 保護者8人 | | |
| 受講率 | 平日版 100% | | 休日版 63% | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 8月21日（木） | 理科に基づく工作物を作ることで、それがどのように作られていくのかを理解するとともに、ひとつの工作物を作り上げる喜びを味わう。 | 日本大学 理工学部教授 大久保 尚紀 | 34人 |
| 2 | 8月23日（土） | 理科に基づく工作物を作ることで、それがどのように作られていくのかを理解するとともに、ひとつの工作物を作り上げる喜びを味わう。 | 18人 | | |
| 参加者合計 | 52人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>例年は1回の開催でしたが、申し込みが多く、受講できない方がいたため、今年度は開催回数を2回に増やし、曜日も休日と平日に分けて実施しました。また、インターンの学生が来館し、受付やこどもたちへの対応をお願いしました。</p> <p>光にはさまざまな種類があり、その中でも紫外線で固まる性質を持つUVレジン液を使用しました。型枠に数層に分けて流し込み、間にラメやパーツを入れ、UVライトで照射すると固まるため、最後にストラップを取り付けて完成させました。</p> <p>さらに、同席していた保護者からも興味が高まり、「やってみたい」という声が上がったため、急遽講師に対応していただき、親子ともに満足していました。</p> | | | | |

●昔々から始まるおはなしの会

| | | | | | |
|-------|---|----------|----------------------------------|--------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 印西市において古くから伝わる民話の「素話」を通して、地域がたどってきた歴史を知るとともに、地元への思いを育む。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者 | | | | |
| 定員 | 35人 | | | | |
| 受講者数 | 34人 | | | | |
| 受講率 | 97% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 1月17日（土） | 素話の読み聞かせ 印西市に古くから伝わる歴史に思いをはせる | 素話ささの会 | 28人 |

| | |
|--------|---|
| 参加者合計 | 28人 |
| 講座を終えて | 各話者がそれぞれの個性を發揮し、多彩なストーリーや表現で参加者を魅了しました。特に地域の伝承を紹介する際に、その地方特有の方言やなまりを活かした語りは、臨場感を持たせ、参加者に地元の文化を深く感じさせるものでした。また、話の間には童謡や手遊びを取り入れることで、子どもたちだけでなく大人も楽しめる工夫が見られました。特に最後の「通りゃんせ」には大人も参加し、懐かしい思い出がよみがえったのか、大変盛り上がりました。 |

●書初教室

| | | | | | |
|--------|---|-----------|--|--------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 冬休みの課題である書き初めを講師指導のもと書きあげる。伝統文化に触れ書道に対する関心を深めるとともに、毛筆の上達を図る。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学3年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 15名 | | | | |
| 受講者数 | 15名 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月13日（土） | 書道の練習、清書 最初に書いたものと最後に書いたものを比べて、自分がどれだけ教室の間に上達したかを 確認し、達成感を味わう。 | 徳久 和歌子 | 10人 |
| 参加者合計 | 10人 | | | | |
| 講座を終えて | 当日は講師および講師補助の計6名が参加し、参加者に対し丁寧かつきめ細やかな指導を提供しました。講師陣は積極的に声をかけることで、参加者の緊張感を和らげつつ、独特な表現を用いてユニークな指導を行いました。これにより、参加者は徐々にリラックスし、集中して取り組む姿勢を見せました。終始明るい雰囲気の中で、参加者は一生懸命に作品を仕上げ、大変有意義な事業となりました。職員としても、講師陣の熱意と参加者の成長する姿が印象的であり、継続して事業実施したいと考えます。 | | | | |

●親子おもしろレク体験

| | | | | | |
|-------|--|---------|--------------------|------------------|------------|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 年齢や体力に関係なく、ほかの参加者との交流を楽しみながら体を動かす爽快感と達成感を味わう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生と保護者） | | | | |
| 定員 | 20組40人 | | | | |
| 受講者数 | 10組19人 | | | | |
| 受講率 | 50% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月7日（土） | スポーツ・レクリエーション種目を体験 | 明治安田生命 保険相互会社 | 10組 19人 |
| 参加者合計 | 10組19人 | | | | |
| 講座を | 導入として、「リス」と言えば2人組に、「ゴリラ」と言えば3人組に素早く分かれるリズム遊びを行 | | | | |

| | |
|------------|---|
| <p>終えて</p> | <p>いました。この遊びで場が和み、参加者たちの笑顔が広がりました。</p> <p>次に、スピードラダーゲッターというゲームを紹介しました。このゲームでは、紐で繋げた2個のボールをはしごに向かって投げ、速さを競います。大人もこの競争に熱中し、楽しんでいる様子が見られました。</p> <p>さらに、ペアリングキャッチという遊びも試みました。2つや3つのリングを同時に投げ、それをキャッチしますが、参加者たちはその難しさに挑戦心を燃やしていました。</p> <p>最後に、「ふらばー」というゲームを行いました。おにぎりのような形のボールを使い、ワンバウンドさせて相手に投げるものでした。このボールは形がいびつなため、予想もしない方向に飛ぶことがあり、参加者の瞬発力が試されることとなりました。</p> <p>今回は、ニュースポーツと呼ばれる新しいスポーツを中心に活動を展開しましたが、その中にはコーディネーショントレーニングにつながる要素も含まれていました。これにより、親子間のコミュニケーションが深まり、一緒に新しい体験を楽しむ姿が見られました。</p> |
|------------|---|

●親子で学ぶお金の基本講座

| | | | | | |
|--------|---|----------|-------------------------|------------------|----------|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | タブー視される事のお金の話は金融リテラシーの低下にもつながる。トラブルに巻き込まれない為の基本を学ぶ | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生と保護者） | | | | |
| 定員 | 20組40人 | | | | |
| 受講者数 | 3組6人 | | | | |
| 受講率 | 15% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 1月24日（土） | お金のトラブルに巻き込まれない為の基本を学ぶ。 | 明治安田生命 保険相互会社 | 3組 6人 |
| 参加者合計 | 3組6人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>最初に小学生向けの講義が行われ、お金の種類や正しい使い方、お金の大切さと計画の重要性について参加者の小学生に問いかけながら、わかりやすく説明がされました。親が子に問いかけ、共に学ぶ様子が見受けられました。</p> <p>そして、大人向けの講義では、ライフイベントにかかる金額や入院、事故にかかる費用について説明され、預金と保険、株、NISAなどの金融商品に関する情報も提供されました。参加者全員が真剣に耳を傾け、親子でお金の基本を学ぶ有意義な時間となりました。</p> | | | | |

●みんなのいけばな教室

| | | | | | |
|------|--|----|-----|-----|--|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 日本の伝統文化である生け花を通して、礼儀や作法の向上を図るとともに、四季に思いを馳せて心に癒しを感じられるように理解を深める。また、お正月向けの草花を生けることにより、日本らしい新年の迎え方を見直す。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 各回20人 | | | | |
| 受講者数 | 5月 | 9人 | 12月 | 20人 | |

| 受講率 | 5月 45% 12月 100% | | | | |
|--------|---|-----------|--|--------|-----|
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 5月31日(土) | 春から初夏に見頃を迎える草花を使い、自然のままの美しさを実際に目にする喜びを感じると共に、ひとつの生け花の作品を作り上げる喜びを味わう。 | 池田 美枝子 | 9人 |
| | 2 | 12月27日(土) | お正月に向けて華やかな草花を生けることで、年始を彩り豊かに楽しい気分で過ごすと共に、日本らしい新年の迎え方を味わう。 | | 20人 |
| 参加者合計 | 29人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>第1回</p> <p>花材はビジョ柳、アリアム(タンチョウ)、なでしこ、ナルコユリの4種類であり、指定された順に生けていきました。講師からは、比較的個人の感性を尊重し自由に生けるよう言われましたが、中心となる大きな花材の長さや角度を決めてから進めると良いと指導がありました。なお、オアシスの用意がありましたが、ビジョ柳が硬く重いことから、一部の参加者は剣山で生けたいという希望を出し、急ぎ準備を行いました。</p> <p>花を生け終わった人から順に講師の手直しを受け、その後、講師が用意した暗幕の前で完成した作品を撮影しました。撮影が終わると他の参加者の作品を見て回り、感想を述べ合うなど、自然と交流が生まれる場面も見られました。</p> <p>第2回</p> <p>花材は、正月らしいヤナギ、松、菊、カーネーション、千両の5種類でした。また、おまけとして折り鶴が配られました。花材を生ける順序は松、菊、カーネーション、千両、ヤナギの順で、生ける際には講師から長さやバランスについて指導を受けました。参加者はスムーズに作業を終え、完成した作品を鑑賞し合いながら意見交換を行いました。折り鶴を利用して正月らしさを演出する工夫をする方も見られました。</p> <p>最後に講師による質問対応や手直しの後、参加者同士で作品を見て回り、感想を述べ合うなど、自然と交流が生まれる場面も見られました。</p> | | | | |

●癒しのアロマ

| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
|-------|--|----------|--|-------|-----|
| ねらい | アロマセラピーの基本を学びながら、自然の草花の香りを通して心と体の内面を安定させることの大切さを学ぶ。また、心の状態が体の健康に深く結びついていることへの理解を深める。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 15人 | | | | |
| 受講者数 | 15人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 6月25日(水) | アロマセラピーの基本を学びながら、講座の参加者同士で親睦を深める。香りを楽しみながら、自分の内面を整えることを意識する。 | 前田 美紀 | 15人 |

| | |
|--------|--|
| 参加者合計 | 15人 |
| 講座を終えて | <p>今回のアロマテラピー講座では、ヒノキを用いた蒸留体験を通じて、エッセンシャルオイルの製造過程を学びました。参加者は、理科の実験のように、蒸留装置に水を含んだヒノキを詰め込み、水を加えて沸騰させました。その際、装置の蓋の上に氷を乗せて蒸気を冷やし、ヒノキの香りが漂う蒸留水を採取しました。蒸留水の表面には少量の油の膜が現れ、それがエッセンシャルオイルとなるものです。</p> <p>蒸留を行っている間には、ヒノキのおがくずを布製の袋に入れ、オイルを垂らして香りバッグ（サシェ）を作成しました。さらに、完成した蒸留水を使用し、精製水と好みのエッセンシャルオイルを調合してオリジナルのアロマスプレーを作成しました。また、蒸留の過程で生じた残渣は参加者それぞれに分配しました。最後に、トリートメントオイルも作成し、講座では3種類の持ち帰り品を用意しました。</p> <p>参加者はこの体験を通じてアロマテラピーの多様な側面を学び、ヒノキの香りに包まれた有意義な時間を過ごすことができました。</p> |

●スワッグ作り体験

| | | | | | |
|--------|---|----------|---------------------|-------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | ヨーロッパでは魔除けの意味もあるスワッグ（壁飾り）を自分の手で創作を行うことで季節の移ろいやゆめくもりを再確認し、作り上げる喜びを知る。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 10人 | | | | |
| 受講者数 | 10人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 9月24日（水） | 季節の植物を使ってスワッグを作成する。 | 長嶺 悦子 | 10人 |
| 参加者合計 | 10人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>今年度初めての新規事業でしたが、定員を超える申し込みがありました。事業で使用した造花は、生花に近く色あせしづらいため、陽の光が入る場所でも見劣りしない点が好評です。</p> <p>正解はなく、個人の感性でバランスを重視し、後ろが平らになるようにするなどの要点はありますが、自由に作成することで、枝が大きく張り出したものや、逆に小さくまとめたものなど、飾る場所によってどのようにも作れることが楽しみであり、強みでもあるようです。</p> <p>作成し終えた人から講師の手直しを受けたり、撮影したりし、他の人のスワッグを見比べ感想を述べあうなど参加者の交流の場にもなりました。</p> | | | | |

●はじめての yoga

| | | | | | |
|-------|---|-----|----|-----|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | ヨガ（yoga）の基本を学びながら、心と体の内面の安定を感じるとともに、メンタルバランスの重要性について学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 8人 | | | | |
| 受講率 | 40% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | | | | | |

| | | | | | |
|--------|--|-----------|---|-------|----|
| | 1 | 9月30日(火) | ヨガの基本を学びながら、参加者同士親睦を深める。無理をせず、自分の内面と向き合う時間を意識する。 | 佐藤 洋子 | 8人 |
| | 2 | 10月7日(火) | 前回の内容に引き続き基本的な動きを学ぶと共に、前回と同様に、無理をせず、落ち着いて行うことを意識する。 | | 5人 |
| | 3 | 10月21日(火) | これまでの講座と比較してやや難易度の高い姿勢に挑む。無理をせず、自分の内面と向き合い、心の安定を意識する。 | | 7人 |
| | 4 | 10月28日(火) | まとめとして、これまでの講座で学んできた姿勢を復習し、自分の内面とどれほど向き合えたかを考える。姿勢を作る際には、無理をせずに心の安定を意識してできたかを考えながら行う。 | | 4人 |
| 参加者合計 | 24人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>ヨーガは多くのポーズを含んでおり、「木」「山」「動物」「太陽」など、世界のあらゆる存在の名前が付けられていることが特徴です。これらは仏教のような視点で物事を捉える点が似ています。しかし、ヨーガはポーズだけでなく、呼吸法やマントラ(真言)を含めて実践することで、身体のこわばりが取れたり、動かしやすくなったりといった副次的な効果が得られるのです。</p> <p>教室ではまず、指や足指のマッサージを行った後、ポーズに移ります。最初のポーズは「寝床のムドラ」で、その名の通りベッドや布団の上でも行えます。次に行う「シャヴァアーサナ(屍のポーズ・瞑想)」はポーズの王様とされており、欠かすことのできない重要なポーズです。三つ目の「鶴のポーズ(バランス)」では、片足で立ちバランス感覚を確認しました。</p> <p>講師からは「無理をしない」「他人と比べない」という重要な注意があり、「途中で帰りたくなったり、終了後に疲労を感じたりした場合は、それが過度な負荷のサインである」とのアドバイスがなされました。</p> | | | | |

●東国三社詣

| | | | | | |
|--------|--|-----------|--------------------------------|-----|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 古代ロマンを感じる関東有数のパワースポット、鹿島神宮、香取神宮、息栖神社を巡拝しながら歴史に触れ学ぶ機会とする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 20人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 11月22日(土) | 鹿島神宮、香取神宮、息栖神社を巡拝しながら歴史について学ぶ。 | 職員 | 16人 |
| 参加者合計 | 16人 | | | | |
| 講座を終えて | 鹿島神宮、息栖神社、香取神宮を巡る事業を実施しました。同行した講師の解説のもと、参加者は歴史や文化について理解を深める機会を得ました。各所でガイドや神職の話聞きつつ、丁寧に参拝を行 | | | | |

| | |
|--|---|
| | <p>い、神聖な場に触れることで有意義な学習を提供できました。</p> <p>集合から解散まで終始円滑に運営され、事業全体を通して参加者の学びへの意欲を感じる場面が多々ありました。移動中も活発な会話が交わされ、学びを共有する良い雰囲気醸成されました。また、天候にも恵まれ、事故や遅延もなく進行できました。</p> <p>事前準備を念入りに行った成果が発揮され、問題なく進行し参加者からも充実した内容であると好評を得ました。特に神社での講解やガイドの案内は印象深く、事業として成功したと総括できます。</p> |
|--|---|

●おとなの工芸教室

| | | | | | |
|--------|---|-----------|--|-------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 自分の手で工作物（竹かご）を創作することで、創意工夫を促し、ひとつの作品を作り上げる喜びを味わう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 10人 | | | | |
| 受講者数 | 10人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 11月29日（土） | 約30本の竹ひごを使い、釘や接着剤等を一切使うことなく、竹ひごを編み合わせることで、ひとつの竹かごを作り上げる喜びを味わう。 | 間野 政勝 | 10人 |
| 参加者合計 | 10人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>竹ひごを網目が六角形になるように編んでいく作業は相当難しいようで、参加者は苦戦していましたが、講師や竹細工サークルの皆さんの助言や手助けにより全員が時間内に完成させることができました。</p> <p>また参加者同士で作業手順を確認し合ったり、お互いの作品を褒め合うなどしており、お互いに交流ができたことも良かったです。</p> <p>難しい作業でしたが楽しそうに、また作品ができあがった時は達成感を感じているようでした。</p> <p>竹細工サークルに関心を持つ参加者もいて、サークルについて熱心に質問をしており、自身の作品の出来に満足し、工芸に興味を引かれた様子でした。</p> | | | | |

●竹あかり教室

| | | | | | |
|-------|--|-----------|---|-----|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | 竹林の整備で伐採した竹を有効活用して工作物（竹灯ろう）を創作する。年末に開催することで正月用の飾りにでき、使用後は竹炭にもできる。このことから、参加される皆様の創意工夫を促すだけでなく、自然資源を有効に活用することによって、良好な自然環境を維持することの重要性を学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 12人 | | | | |
| 受講者数 | 12人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月10日（水） | 1本の竹を1節ずつ分け、表面にデザイン画を貼り付け、ドリルで穴を開け、中に光源を入れて | 職員 | 9人 |

| | | | | |
|--------|---|--------|--|--|
| | | 完成させる。 | | |
| 参加者合計 | 9人 | | | |
| 講座を終えて | <p>本事業では、インパクトドライバーの基本操作を学びながら、竹灯りを作成する事業を実施しました。初めにインパクトドライバーの名称や使い方、竹灯りの作り方について説明し、実際に工具に触れて操作方法を確認しました。作業は2チームに分かれ、それぞれの工程を進め、最後に完成した竹灯りを点灯、鑑賞したのち、参加者へ作品を持ち帰って頂きました。</p> <p>参加者の大半が初めてインパクトドライバーを使用する中で、最初は戸惑いも見られましたが、次第にスムーズな作業ができるようになりました。工具の重さに苦労する声もありましたが、皆が協力し合い、全員が最後までやり遂げる姿勢が特に印象的でした。照明を落とした中で並べられた竹灯りの幻想的な光景に、参加者全員が大きな感動を共有しました。</p> <p>本事業は工作を通じた学びの機会として成功し、一人ひとりが完成した作品への満足感と達成感を感じられる内容でした。また、参加者同士の交流や協力体験も促進できた点が評価できます。安全面でもけがや事故なく実施でき、今後の活動への自信につながる有意義な事業でした。</p> | | | |

5. 本埜公民館

| 当初計画（令和7年3月公運審） | 変更点等 |
|---------------------|------|
| こども対象事業 | |
| 1. こども和太鼓教室（低学年コース） | |
| 2. こども和太鼓教室（中学年コース） | |
| 3. こども生け花教室 | |
| 4. わくわくスポーツ教室 | |
| 5. ふるさと再発見 | |
| 6. 書初めひろば | |
| 大人対象事業 | |
| 1. わら細工講座 | |
| 2. 楽しく学ぶ！認知症予防講座 | 中止 |

●こども和太鼓教室（低学年コース・中学年コース）

| 事業区分 | こども対象事業 |
|-------------|--|
| ねらい | 日本の伝統文化である和太鼓を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させることを目的としている。 |
| 対象 | 市内在住者（小学1年生から6年生の2部構成） （午前の部は小学1年生～2年生、午後の部は小学3年生～6年生） |
| 定員 | 各15人 |
| 受講者数（6月25日） | （午前の部 低学年コース） 4人 （午後の部 中学年コース） 8人 |
| 受講率 | （午前の部 低学年コース） 26.7% （午後の部 中学年コース） 53.3% |
| 参加者合計 | 12人 |
| 講座を終えて | <p>低学年コースでは、初めに出席確認、講師紹介から始まり、準備体操を行い体をほぐしたあと、講師からバチの正しい持ち方や構え方を教わりました。こどもたちは、講師の手元を真剣に見つめ、右手・左手の動きを確かめながらバチを握っていました。講師の「ゆめ太鼓」の演奏を間近で聴くと、こどもたちの表情が一気に明るくなり、太鼓の前に立つ姿勢にも力が入り、その後の練習では、リズムに合わせて腕を大きく振り上げたり、手拍子に合わせてステップを踏んだり、音と動きを合わせる楽しさを感じながら取り組む様子が見られました。休憩を挟みつつ練習を重ねると音がそろい始め、終盤には太鼓を叩く姿勢が安定し、はっきりした音が出せるようになり、少人数ならではの丁寧な指導が活かされ、最後は達成感のある表情で講座を終えました。</p> <p>中学年コースは出席確認、講師紹介、準備体操からスタートしました。準備体操を終えるとすぐに講師による演奏が始まり、こどもたちは静かに聴き入り、太鼓の響きの響きを確認するように体をまっすぐ向けていました。実技に入ると、低学年よりもバチの扱いに慣れており、基本動作は短時間で習得できていました。太鼓の音もしっかりと響き、講師のリズムに合わせて力強く叩く姿が印象的でした。</p> <p>さらに、中学年では動きながら叩く練習にも挑戦し、隊列を乱さずに横移動をしながら太鼓を叩く場面では、リズムの一致と集中力の高さが際立っていました。講師の叩く太鼓に合わせて自分たちも音を重ねる練習では、太鼓の響きが重なり、保護者からも「迫</p> |

| | |
|--|--|
| | 力があって感動した」との声が寄せられ、参加した子どもたちからは「動きながら叩くのが楽しかった」、「音がそろったとき嬉しかった」という感想もあり、より実践的な内容に手応えを感じている様子でした。 |
|--|--|

●こども生け花教室

| | | | | | |
|--------|--|-----------------|--------------------|-----------------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 日本の伝統文化である生け花を体験・習得する機会を提供し、将来にわたって継承し発展させることを目的としている。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学1年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 10人 | | | | |
| 受講者数 | 18人（延べ2日間の総数） | | | | |
| 受講率 | 90% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 9月13日（土） 1回目 | 生け花の基本を学びながら表現力を養う | 菊池 愛子 青野 きみい | 9人 |
| 2 | 9月20日（土） 2回目 | 9人 | | | |
| 参加者合計 | 18人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>1回目は、花の扱い方、ハサミの使い方、花材の切り方・挿し方といった基本を学んだあと、高さのある花器を使い、高低差をつけてバランスよく生けるアレンジメントに取り組みました。花の位置や向きを工夫しながら制作を進め、個性豊かな作品が完成しました。</p> <p>2回目は、四方から見える生け方を学び、浅く挿す・深く挿すなどの技法を使い分けながら立体的に仕上げる制作に挑戦しました。また、自分なりにアレンジを考え、使えそうな花材を探すなど、主体的に取り組む様子も印象的でした。</p> <p>両回とも、子どもたちはそれぞれが作品を仕上げ、修了証を受け取り、達成感のある表情を見せていました。</p> | | | | |

●わくわくスポーツ教室

| | | | | | |
|-------|---|-----------------|-------------------|-------------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 楽しく学びながら運動能力等を伸ばせるコーディネーショントレーニングを実施。適応力や柔軟な考え方の育成につながり、発達が著しい時期に運動技能や能力を伸ばす。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学1年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 合計48人（延べ4日間の参加者の総数） | | | | |
| 受講率 | 各回の受講率1回目 70%、2回目 55%、3回目 65%、4回目 50% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月26日（土） 1回目 | ボールを使い相手に渡す簡単な運動。 | 順天堂大学 学生 | 14人 |

| | | | | | |
|--------|--|------------------|---------------------------------|--|-----|
| | 2 | 8月16日(土) 2回目 | ドッジボールなども取り入れた遊びの内容を盛り込んだ運動。 | | 11人 |
| | 3 | 10月11日(土) 3回目 | ドッジボール、みんながたのしめるような内容の運動。 | | 13人 |
| | 4 | 11月22日(土) 4回目 | いままで取り入れたことのないダンスの内容やドッチボールの運動。 | | 10人 |
| 参加者合計 | 48人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>第1回目は、初めて顔を合わせるこどもたちが緊張しないよう、順天堂大学の学生によるルール説明と簡単なアイスブレイクからスタートしました。ボール転がしなど、動きながら判断するコーディネーション運動を中心に行い、こどもたちは徐々に表情が柔らかくなり、積極的に取り組む姿が見られました。初回としては充実した内容となり、学生指導者との距離も近づき、次回への良い流れを作ることができました。</p> <p>第2回は、人気の高い「ベガボール」を中心に活動した。走る・投げる・避けるといった複数の動作が混ざるため、こどもたちは夢中になって取り組み、汗をかきながらも笑顔が絶えませんでした。</p> <p>前回より参加者の動きにキレが増し、仲間同士で声を掛け合う場面も多く、チームワークの高まりが感じられました。</p> <p>第3回は、こどもたちに特に人気の「じゃんけんゲーム」を取り入れました。瞬時の判断が求められるゲーム性の高いメニューで、勝ち負けに一喜一憂しながらも、全員が最後まで集中して取り組みました。また、ドッジボールの基礎動作も行い、投げ方・避け方のポイントを順天堂大学の学生がていねいに指導をしたことで、体の使い方が目に見えて改善した子もおり、継続の成果が感じとられる回となりました。</p> <p>最終回となる第4回は、これまでの積み重ねを活かし「ダンスの基本」やステップに合わせた運動を実施しました。慣れない動きに苦戦しつつも、こどもたちはリズムに合わせて楽しそうに体を動かし、最後は全員で協力して一つの動きを仕上げることができました。1～3回目で身につけた体のコントロール力が生き、最終回にふさわしい成長が感じられる内容となりました。</p> <p>年間を通じて「運動が好きになった」「また参加したい」という保護者・参加者からの声も多く寄せられました。</p> | | | | |

●ふるさと再発見

| | | | | | |
|-------|---|---------|--------|------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 本埜地域にのこされている豊かな自然環境を子どもから大人まで多くの市民に紹介をしていく。身近な動植物と触れ合い、自然環境への関心や理解を深める機会を提供するとともに、環境保全意識の向上に寄与する。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者(小学生と保護者) | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 第1回 23人 第2回 7人 第3回 10人 | | | | |
| 受講率 | 第1回 115% 第2回 35% 第3回 50% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 7月6日(土) | ホテル観察会 | 里山の会 | 23人 |

| | | | | | |
|--------|---|----------|-----------|-------|-----|
| | 2 | 7月12日(土) | 蝶とトンボの観察会 | ECOMO | 7人 |
| | 3 | 11月8日(土) | 秋の自然観察会 | | 10人 |
| 参加者合計 | 40人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>今年度のふるさと再発見では、ホタルの観察会、蝶とトンボの観察会、秋の自然観察会を実施し、参加者が地域の自然に親しみながら学べる機会となりました。</p> <p>まず、ホタルの観察会は募集初日に定員に達するほどの人気で、当日はホタルに関するDVD鑑賞の後、里山へ移動し多数の発光を確認することができました。参加者からは「普段見られない光景が見られて良かった」「たくさんのホタルに感動した」との声が寄せられました。ホタルの生態についても、世界に4,000種、日本に40種以上が生息し、成虫は水しか摂れず寿命が10～15日程度であることなどを学び、理解を深める機会となりました。</p> <p>蝶とトンボの観察会では、子どもたちが虫取り網を手に夢中で昆虫を追いかけ、捕獲した昆虫を講師とともに図鑑で確認するなど、楽しみながら自然への関心を高める姿が見受けられました。参加者は安全に活動し、講師からも「無事に開催できて良かった」との声を頂くことができました。</p> <p>秋の自然観察会では、本埜小学校から森へ向かう道を歩きながら、途中で落ちている植物や木々の特徴を学び、森の奥へ進むにつれて変化する環境を体験しました。森に入り落ち葉や植物を講師が解説をし、道中で昆虫を発見する瞬間、開けた場所での観察、背の高い木々の説明、さらに昆虫を探しに林沿いの道を進み、参加者が自然の中で積極的に観察している姿が伝わってきました。</p> <p>観察会では、配布された葉を手がかりにクイズを行ったり、狭い道で隊列が分かれてしまう場面もありましたが、講師の声かけで整えながら進行し、怪我もなく無事に終えることができ、珍しい草花を見つけた参加者が興味深く聞き入る様子や、虫かごを持って自主的に観察に参加する姿も見受けられました。</p> <p>これら一連の講座を通じ、参加者からは「自然が身近に感じられた」「参加してよかった」との声が多く寄せられ、地域の自然を自らの目で観察し、昆虫や植物を学ぶ体験は、こどもから大人までの自然理解と環境への関心を高める大きな契機となりました。</p> | | | | |

●書初めひろば

| | | | | | |
|--------|--|-----------|--------------------|--------|-----|
| 事業区分 | こども対象事業 | | | | |
| ねらい | 書の伝統と文化の理解を含め、書くことの大切さを育てる。また、書道を通して集中力を高め、心の落ち着きなどを自ら体験し学ぶ。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（小学生1年生～6年生） | | | | |
| 定員 | 20人 | | | | |
| 受講者数 | 18人 | | | | |
| 受講率 | 90% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 12月26日(金) | 冬休みの宿題として出された課題の練習 | 小林 みどり | 18人 |
| 参加者合計 | 18人 | | | | |
| 講座を終えて | 本講座は、書の伝統文化に触れながら、集中力と落ち着きを育むことを目的として行いました。参加児童は1年生から6年生まで幅広く、学年ごとに異なる書き初めの課題に取り組みました。 | | | | |

| | |
|--|--|
| | <p>当日は、開始時に書道用具の扱いに関する注意事項を確認した後、学年ごとに分かれて課題文字の練習を行いました。指導者がグループごとに巡回し、筆の運び方や姿勢などを丁寧に助言したことで、児童が落ち着いて集中しながら文字を書く姿が見られました。途中には添削も行われ、最後にはそれぞれが書いた作品の中から1点を選び、当日の学習を締めくくりました。</p> <p>講座中は、説明を聞く様子、練習に取り組む姿、筆遣いのを事前に準備し、児童が安心して活動に集中できる環境が整っていました。</p> <p>参加児童からは「集中して練習できた」「うまく書けるようになった」などの声があり、書道への関心や自己表現への自信が高まった様子がうかがえました。</p> |
|--|--|

●わら細工講座

| | | | | | |
|--------|---|----------|-------------|-------|-----|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | わら細工により、伝統的風習の意味や慣わしなどにふれて、物づくりの喜びを感じてもらう。 | | | | |
| 対象 | 市内在住者（20歳以上） | | | | |
| 定員 | 12人 | | | | |
| 受講者数 | 12人 | | | | |
| 受講率 | 100% | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 1月17日（土） | わらを使い作品を作る。 | 岩井 猛和 | 12人 |
| 参加者合計 | 12人 | | | | |
| 講座を終えて | <p>今回のわら細工講座では、自然であるわらに触れながら、地域に伝わる手仕事を身近に感じる時間となりました。講師からは、わらの繊維の向きやしなり方、束ね方による形の変化といった具体的なポイントが、実物資料を交えてわかりやすく説明され、参加者は、見本を参考にしつつ、自分の手の動きに合わせて少しずつ形が整っていく過程をていねいに楽しんでいる様子でした。作業の途中では「ここはこうすると整いやすい」「わらの硬さが少し違う」など、自然意見が交わされていました。同じ材料でも、扱い方や力加減の違いによって仕上がりが変わるため、互いの作品を見比べながら、わら細工ならではの奥深さやおもしろさを共有する場面も見られました。こうしたやりとりが、手しごとを通じて地域文化を感じるきっかけにもなっていたように思われました。完成した作品には、一つひとつ違う表情が現れ、わら本来の素朴な風合いと、手しごとのぬくもりが調和した仕上がりとなり、制作の中で素材の反応を確かめ、形が変わっていく様子を見ながら進める体験は、単なるものづくりだけではなく、自然素材や地域の伝統に対する見方を少し広げてくれる時間になったように感じられました。</p> <p>今後の課題といたしまして、当初募集で参加者が定員に対して少なかった事を踏まえ、今後の募集方法及び周知については、SNS等を積極的に活用し、対象者のターゲット層を変え、攻めの広報戦略を実施し、参加者増に繋げていきます。</p> | | | | |

●楽しく学ぶ！認知症予防講座（中止）

| | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|
| 事業区分 | 大人対象事業 | | | | |
| ねらい | セカンドライフを安心して暮らすために、認知症対策について楽しく学び、生きがいづくり、健康づくりの一助とする。 | | | | |
| 対象 | 市内在住・在勤者 | | | | |
| 定員 | 15人 | | | | |

| | | | | | |
|--------|---|---------|-----------------------------------|------------------|-----|
| 受講者数 | 人 | | | | |
| 受講率 | % | | | | |
| プログラム | 回 | 実施日 | 内容 | 講師等 | 参加者 |
| | 1 | 月 日 () | 認知症を理解し、最適な「マイライフ&エンディングノート」を考える。 | 明治安田生命 相互保険会社 | 人 |
| 参加者合計 | 人 | | | | |
| 講座を終えて | | | | | |

7. 主催事業月別参加者数

令和8年1月末までの主催事業の参加者数は次のとおりとなりました。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 計 |
|--------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 中央 | 0 | 14 | 24 | 48 | 35 | 20 | 60 | 42 | 52 | 3 | 298 |
| R6 | 0 | 11 | 25 | 44 | 50 | 39 | 46 | 35 | 44 | 21 | 315 |
| (前年度比) | 0 | 3 | ▲1 | 4 | ▲15 | ▲19 | 14 | 7 | 8 | ▲18 | ▲17 |
| 小林 | 30 | 61 | 119 | 96 | 61 | 37 | 101 | 198 | 118 | 34 | 855 |
| R6 | 15 | 18 | 170 | 66 | 70 | 127 | 45 | 23 | 78 | 62 | 674 |
| (前年度比) | 15 | 43 | ▲51 | 30 | ▲9 | ▲90 | 56 | 175 | 40 | ▲28 | 181 |
| そうふけ | 0 | 0 | 15 | 103 | 79 | 64 | 20 | 33 | 82 | 0 | 396 |
| R6 | 0 | 0 | 20 | 86 | 72 | 25 | 16 | 44 | 71 | 19 | 353 |
| (前年度比) | 0 | 0 | ▲5 | 17 | 7 | 39 | 4 | ▲11 | 11 | ▲19 | 43 |
| 印旛 | 0 | 9 | 34 | 37 | 80 | 18 | 16 | 26 | 39 | 34 | 293 |
| R6 | 0 | 9 | 14 | 84 | 7 | 13 | 40 | 29 | 58 | 0 | 254 |
| (前年度比) | 0 | 0 | 20 | ▲47 | 73 | 5 | ▲24 | ▲3 | ▲19 | 34 | 39 |
| 本埜 | 0 | 0 | 12 | 44 | 11 | 18 | 13 | 20 | 18 | 12 | 148 |
| R6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (前年度比) | 0 | 0 | 12 | 44 | 11 | 18 | 13 | 20 | 18 | 12 | 148 |
| 計 | 30 | 84 | 204 | 328 | 266 | 157 | 210 | 319 | 309 | 83 | 1,990 |
| R6 | 15 | 38 | 229 | 280 | 199 | 204 | 147 | 131 | 251 | 102 | 1,596 |
| (前年度比) | 15 | 46 | ▲25 | 48 | 67 | ▲47 | 63 | 188 | 58 | ▲19 | 394 |

(▲=減)

※本埜公民館は保全改修工事のため令和6年度休館。

《団体育成事業》

各公民館においては、利用サークル等が自主的かつ円滑な学習が行えるよう指導及び支援を行いました。

展示ギャラリーは、地域で活動する各サークルが日頃取り組んできた成果を広く市民に発信し、活動の魅力や価値を共有することを目的として実施しました。作品展示を通じて、サークル間や地域住民との交流を促進し、公民館活動の活性化につなげることを目指したものです。また、公民館利用サークル連絡協議会加盟サークルが活動成果の発表を行う「まつり」の運営支援を行いました。

●展示ギャラリーの実施状況

- ・中央公民館 10件
- ・小林公民館 11件
- ・そうふけ公民館 18件
- ・印旛公民館 6件
- ・本埜公民館 0件

●公民館まつりの実施状況

- ・中央公民館…みなづき祭
実施日：中止
来場者：0人
- ・小林公民館…小林コミュニティまつり
実施日：11月15日（土）～16日（日）
来場者：923人
- ・そうふけ公民館…ふれあい文化館まつり
実施予定日：11月8日（土）～11月9日（日）
来場者：1,032人
- ・印旛公民館…いんば公民館まつり
実施日：11月9日（日）
来場者：225人
- ・本埜公民館…本埜公民館サークル発表会
実施日：12月7日（日）
来場者：350人

●令和7年度各公民館等利用サークル連合組織状況（令和8年1月末現在）

- ・中央公民館利用サークル懇談会…25団体
- ・小林コミュニティサークル連絡協議会…17団体
- ・そうふけ公民館利用サークル協議会…23団体
- ・印旛公民館利用サークル協議会…13団体
- ・本埜公民館サークル連絡協議会…10団体

中央公民館利用サークル懇談会

| 番号 | 団体名 | 活動内容 | 活動日 | 活動時間 | 会員数 |
|----|-----------------------|----------|----------------|-------------------------------|-----|
| 1 | 印西ウインドアンサンブル | 吹奏楽 | 毎週水・土 | 18:00~21:00 | 41 |
| 2 | 印西山野草の会 | 山野草栽培・研究 | 隔月第3土 | 18:00~20:00 | 11 |
| 3 | 印西写楽 | 写真 | 第3土 | 13:00~17:00 | 7 |
| 4 | 印西太極拳同好会 | 太極拳 | 毎週火・日 | 9:00~12:00 | 26 |
| 5 | 印西盆栽愛好会 | 盆栽栽培・研究 | 不定金 | 9:00~15:00 | 21 |
| 6 | 絵てがみの会 | 絵手紙 | 第3土 | 10:00~12:00 | 6 |
| 7 | おむすび会 | 家庭料理 | 第4金 | 9:00~14:00 | 13 |
| 8 | カトレア ヨガの会 | ヨーガ | 第1~4金 | 14:00~16:00 | 6 |
| 9 | カレイナニ フラ プルメリア | フラダンス | 第1~4木 | 13:00~17:00 | 15 |
| 10 | 木下囃子保存会 | 囃子 | 第2・4土 | 19:00~21:00 | 7 |
| 11 | 健康呼吸法の会 | 丹田呼吸法 | 毎週金 | 10:00~12:00 | 10 |
| 12 | 健康体操サークル | 健康体操 | 第1・3水 | 9:00~13:00 | 21 |
| 13 | コール・ミモザ | コーラス | 第1~4水 | 9:00~12:00 | 11 |
| 14 | コール・ルピナス | コーラス | 第1・3・4木 | 9:00~13:00 | 5 |
| 15 | 彩々会 | 絵画 | 第1・3日 | 13:00~16:00 | 3 |
| 16 | ささのは会 | 素話 | 第1木 | 13:00~17:00 | 6 |
| 17 | 自力整体サークル | 自力整体 | 第2・3・4金 | 13:00~17:00 | 25 |
| 18 | 水辺短歌会 | 短歌 | 第1日 | 13:00~16:00 | 8 |
| 19 | チェリー | 楽器・歌の練習 | 第2火 | 13:00~17:00 | 6 |
| 20 | 陶遊会 | 陶芸 | 第1・3火 第2・4水 | 9:00~16:00 | 10 |
| 21 | トナ会 | 自己啓発 | 第3水 | 10:00~12:00 | 15 |
| 22 | バルーンアートサークル ピッコロ | バルーンアート | 第1水・不定日 | 水 12:00~17:00 日 9:00~12:00 | 23 |
| 23 | ミックスジュース | エアロピクス | 毎週木 | 10:00~13:00 | 5 |
| 24 | ヨガ友サークル | ヨーガ | 毎週水 | 19:00~21:00 | 5 |
| 25 | 合唱サークル ♪poco a poco ♪ | コーラス | 毎週火 | 10:00~12:00 | 27 |

(令和8年1月末現在)

小林コミュニティサークル連絡協議会

| 番号 | 団体名 | 活動内容 | 活動日 | 活動時間 | 会員数 |
|----|---------------|----------|----------|-------------|-----|
| 1 | 新婦人あゆみ班 絵手紙の会 | 絵手紙 | 第3土曜 | 14:00~16:00 | 7 |
| 2 | 小林洋画クラブ | 絵画 | 第1・3土曜 | 13:00~17:00 | 15 |
| 3 | 秋桜会 | 日本画 | 第2・4木曜 | 13:00~17:00 | 6 |
| 4 | 小林石友会 | 囲碁 | 毎週土 | 13:00~16:00 | 10 |
| 5 | 小林将棋の会 | 将棋 | 第2・4日 | 13:00~16:00 | 22 |
| 6 | さくらコーラス | 合唱 | 第1・3木曜 | 13:00~16:00 | 14 |
| 7 | 小林シニア男声合唱団 | 合掌 | 第1・3木曜 | 9:00~12:00 | 16 |
| 8 | 小林カラオケ華の会 | カラオケ | 第2・4金曜 | 13:00~17:00 | 10 |
| 9 | あじさいの会 | 大正琴 | 第2・4水曜 | 9:00~13:00 | 5 |
| 10 | リングングハート | ミュージックベル | 第1・3木曜 | 9:00~12:00 | 10 |
| 11 | マーガレットの会 | 健康体操 | 毎週水 | 10:00~12:00 | 12 |
| 12 | 小林貯筋サークル | 健康体操 | 毎週火 | 9:00~12:00 | 15 |
| 13 | 小林太極拳同好会 | 太極拳 | 毎週土曜 | 9:00~12:00 | 14 |
| 14 | 印西歴史愛好会 | 歴史研究 | 第2日曜 | 9:00~12:00 | 21 |
| 15 | 印西太極拳 牧の里クラブ | 太極拳 | 第2・3・4木曜 | 10:00~12:00 | 9 |
| 16 | 小林親子読書会かたつむり | 読書活動 | 不定期 | 10:00~13:00 | 18 |
| 17 | 小林パソコン同好会 | パソコン | 毎週金 | 9:00~12:00 | 17 |

(令和8年1月末現在)

印西市立そうふけ公民館利用サークル協議会

| 番号 | 団体名 | 活動内容 | 活動日 | 活動時間 | 会員数 |
|----|------------------------|------------------|-----------------|----------------------------|-----|
| 1 | グルッポサノ | ストレッチ体操・フラメンコ | 毎週火曜 | 13:00~16:00 | 33 |
| 2 | エアロナオミ | エアロビクス | 毎週木曜 | 10:00~12:00 | 16 |
| 3 | キャンパスの会 | 油絵 | 毎週金曜 | 9:00~13:00 | 13 |
| 4 | 山百合短歌会 | 短歌 | 第2木曜 | 13:00~17:00 | 14 |
| 5 | 生花倶楽部 | 生け花 | 第2・4木曜 | 10:00~13:00 | 5 |
| 6 | 印西市ユニカール協会 | ユニカール | 毎週金曜 | 13:00~16:00 | 20 |
| 7 | ダンベル&フィットネス | ダンベル体操 | 第1~4木曜 | 13:00~15:00 | 11 |
| 8 | 印西絵手紙の会 | 絵手紙 | 第2・4火曜 | 9:00~13:00 | 13 |
| 9 | サークル桐 | 箏 | 第2木曜 第4土曜 | 9:00~13:00 | 9 |
| 10 | 千葉ニュータウンフィルハーモニーオーケストラ | オーケストラ | 毎週土曜か日曜 | 13:00~17:00 | 25 |
| 11 | ハーラウフラカレイナニレフア | フラダンス | 第1~4金曜 | 9:00~11:00 | 13 |
| 12 | ミュージカルカンパニー「いちごハウス」 | ミュージカル | 毎週日曜 | 13:00~17:00 | 64 |
| 13 | Ace印西 | ダンス | 毎週水曜 毎週土曜 | 18:00~21:00 19:00~20:00 | 34 |
| 14 | フローラルデザイン | ワンストロークペインティング | 第1・3火曜 | 13:00~16:00 | 5 |
| 15 | ハーラウフラカレイナニロケラニ | フラダンス | 第1~4金曜 | 9:00~13:00 | 7 |
| 16 | Ace#3 | ダンス | 毎週水曜 毎週土曜 | 16:00~18:00 16:00~17:00 | 28 |
| 17 | ドラムピース | 打楽器リズム遊び | 土曜か日曜 (月1回) | 13:00~16:00 | 5 |
| 18 | 円グループ | 太極拳 | 毎週水曜 | 9:00~12:00 | 31 |
| 19 | ダンシングキャッツ草深 | モダンバレエ ヒップホップ | 不定期 水曜 (月3回) | 16:00~20:00 | 19 |
| 20 | 日本空手道 拳夢會館 | 空手 | 毎週水曜 毎週土・日曜 | 17:00~19:00 9:00~13:00 | 48 |
| 21 | ミックス・ナッツ (N/Aアップ教室OB会) | 健康体操 | 毎週火曜 | 9:00~11:00 | 16 |
| 22 | Ace #4 | ダンス | 毎週土曜 | 17:00~21:00 | 42 |
| 23 | 竹和会 | 尺八 | 第2・第4木曜 | 13:00~16:00 | 6 |

(令和8年1月末現在)

印西市立印旛公民館利用サークル協議会

| 番号 | 団体名 | 活動内容 | 活動日 | 活動時間 | 会員数 |
|----|---------------|-------|--------|-------------|-----|
| 1 | 和太鼓クラブ 鼓友会 | 和太鼓 | 毎週木・金曜 | 19:00~21:00 | 13 |
| 2 | いには野卓球クラブ | 卓球 | 毎週火曜 | 9:00~12:00 | 12 |
| 3 | 絵画サークル | 絵画 | 第2・4木曜 | 9:00~13:00 | 8 |
| 4 | 竹細工サークル（昼の部） | 竹細工製作 | 毎週木曜 | 13:00~17:00 | 7 |
| 5 | 竹細工サークル（夜の部） | 竹細工製作 | 毎週木曜 | 18:00~21:00 | 8 |
| 6 | ヘルスマイル卓球クラブ | 卓球 | 毎週土曜 | 13:00~16:00 | 10 |
| 7 | ステップ印旛 | 社交ダンス | 毎週金・土曜 | 9:00~12:00 | 8 |
| 8 | 陶芸サークル ねんどあそび | 陶芸 | 毎週木曜 | 19:00~21:00 | 9 |
| 9 | 栖山流印旛吟道会 | 詩吟 | 第2・4日曜 | 13:00~15:00 | 5 |
| 10 | いんば押し花サークル | 押し花 | 第4土曜 | 13:00~17:00 | 6 |
| 11 | 桜歌の会 | カラオケ | 第2木曜 | 19:00~21:00 | 15 |
| 12 | パンダクラブ | 囲碁 | 第1・3木曜 | 13:00~16:00 | 5 |
| 13 | 印旛コスモス会 | 日本舞踊 | 不定期 | 不定期 | 8 |

(令和8年1月末現在)

印西市立本笠公民館サークル連絡協議会

| 番号 | 団体名 | 活動内容 | 活動日 | 活動時間 | 会員数 |
|----|------------|--------|------------------|---------------------------|-----|
| 1 | どんぶりの会 | 陶芸 | 第2・4土曜又は日曜 | 13:00~17:00 | 7 |
| 2 | 墨絵・水彩画サークル | 墨絵・水彩画 | 第3土曜 | 13:00~17:00 | 2 |
| 3 | エアロメグミ | エアロビクス | 毎週水曜 | 10:00~12:00 | 5 |
| 4 | ワイズ | ヘルスバレー | 毎週水曜 | 10:00~13:00 | 16 |
| 5 | ゆりの会 | 紙画 | 第1水曜 | 13:00~17:00 | 6 |
| 6 | 北総太極拳サークル | 太極拳 | 毎週火曜 | 9:00~12:00 | 10 |
| 7 | コスモス新体操クラブ | 新体操 | 毎週木曜・ 毎週日曜 | 17:00~21:00 9:00~17:00 | 24 |
| 8 | 印旛ヴィクトリー | バレーボール | 第1土・日曜 | 9:00~17:00 | 57 |
| 9 | 自力整体 | 自力整体 | 第1・3土曜 第2・4火曜 | 9:00~13:00 | 14 |
| 10 | 白鳥の会 | ちょきん運動 | 毎週木曜 | 10:00~12:00 | 20 |

(令和8年1月末現在)

《個人学習支援事業》

市民の個人学習の推進を図るため、中央公民館、そうふけ公民館、本埜公民館では常設の学習室を設置するとともに、小林公民館、印旛公民館では事業に差し支えない範囲で、個人学習室の開放を行いました。なお、令和8年1月末までの利用者数は次のとおりとなります。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 中央 | 21 | 11 | 17 | 17 | 15 | 1 | 10 | 12 | 18 | 17 | 139 |
| R6 | 20 | 19 | 29 | 17 | 18 | 12 | 30 | 42 | 29 | 33 | 249 |
| (前年度比) | 1 | ▲8 | ▲12 | 0 | ▲3 | ▲11 | ▲20 | ▲30 | ▲11 | ▲16 | ▲110 |
| 小林 | 30 | 61 | 119 | 96 | 61 | 37 | 78 | 201 | 121 | 38 | 842 |
| R6 | 17 | 29 | 39 | 42 | 78 | 34 | 41 | 24 | 42 | 38 | 384 |
| (前年度比) | 13 | 32 | 80 | 54 | ▲17 | 3 | 37 | 177 | 79 | 0 | 458 |
| そうふけ | 117 | 122 | 170 | 219 | 332 | 158 | 151 | 149 | 138 | 142 | 1,698 |
| R6 | 110 | 136 | 224 | 195 | 261 | 189 | 199 | 168 | 191 | 179 | 1,852 |
| (前年度比) | 7 | ▲14 | ▲54 | 24 | 71 | ▲31 | ▲48 | ▲19 | ▲53 | ▲37 | ▲154 |
| 印旛 | 5 | 3 | 0 | 2 | 2 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 16 |
| R6 | 3 | 2 | 1 | 4 | 13 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24 |
| (前年度比) | 2 | 1 | ▲1 | ▲2 | ▲11 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | ▲8 |
| 本埜 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 | 2 | 10 | 1 | 1 | 1 | 22 |
| R6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| (前年度比) | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 0 | 10 | 1 | 1 | 1 | 18 |
| 計 | 173 | 197 | 306 | 336 | 415 | 201 | 250 | 363 | 278 | 198 | 2,717 |
| R6 | 150 | 186 | 293 | 258 | 372 | 238 | 270 | 234 | 262 | 250 | 2,513 |
| (前年度比) | 23 | 11 | 13 | 78 | 43 | ▲37 | ▲20 | 129 | 16 | ▲52 | 204 |

(▲＝減)

※本埜公民館は保全改修工事のため令和6年度休館。

《貸館事業》

市民、地域団体及び利用サークル等に、社会教育、生涯学習、会議及び交流の場を提供し、公民館を学習拠点及び交流拠点として活用いただき、地域コミュニティの醸成、社会教育・生涯学習の推進に努めました。令和8年1月末までの公民館利用者数は次のとおりとなりました。

なお、主催事業参加者及び個人学習室利用者もカウントしたものととなります。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 計 |
|--------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 中央 | 1,653 | 1,212 | 1,349 | 1,162 | 896 | 3,211 | 1,704 | 1,689 | 1,508 | 1,652 | 16,036 |
| R6 | 1,639 | 1,688 | 2,867 | 940 | 701 | 1,604 | 2,179 | 1,930 | 1,656 | 1,850 | 17,054 |
| (前年度比) | 14 | ▲476 | ▲1,518 | 222 | 195 | 1,607 | ▲475 | ▲241 | ▲148 | ▲198 | ▲1,018 |
| 小林 | 1,553 | 1,270 | 1,710 | 1,713 | 1,155 | 1,468 | 1,998 | 2,362 | 1,595 | 1,060 | 15,884 |
| R6 | 1,596 | 1,206 | 1,625 | 1,944 | 1,243 | 2,893 | 2,164 | 2,717 | 1,671 | 1,490 | 18,549 |
| (前年度比) | ▲43 | 64 | 85 | ▲231 | ▲88 | ▲1,425 | ▲166 | ▲355 | ▲76 | ▲430 | ▲2,665 |
| そうふけ | 3,340 | 2,415 | 3,253 | 4,020 | 3,298 | 2,901 | 3,438 | 3,680 | 2,595 | 3,252 | 32,192 |
| R6 | 3,428 | 3,074 | 4,010 | 4,627 | 3,547 | 3,284 | 6,630 | 4,346 | 4,128 | 3,913 | 40,987 |
| (前年度比) | ▲88 | ▲659 | ▲757 | ▲607 | ▲249 | ▲383 | ▲3,192 | ▲666 | ▲1,533 | ▲661 | ▲8,795 |
| 印旛 | 411 | 412 | 2,027 | 897 | 830 | 881 | 1,925 | 767 | 620 | 558 | 9,328 |
| R6 | 395 | 488 | 678 | 897 | 589 | 503 | 1,671 | 1,032 | 804 | 595 | 7,652 |
| (前年度比) | 16 | ▲76 | 1,349 | 0 | 241 | 378 | 254 | ▲265 | ▲184 | ▲37 | 1,676 |
| 本埜 | 542 | 601 | 912 | 1,355 | 1,693 | 1,520 | 1,127 | 1,194 | 1,118 | 1,710 | 11,772 |
| R6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (前年度比) | 542 | 601 | 912 | 1,355 | 1,693 | 1,520 | 1,127 | 1,194 | 1,118 | 1,710 | 11,772 |
| 計 | 7,499 | 5,910 | 9,251 | 9,147 | 7,872 | 9,981 | 10,192 | 9,692 | 7,436 | 8,232 | 85,212 |
| R6 | 7,058 | 6,456 | 9,180 | 8,408 | 6,080 | 8,284 | 12,644 | 10,025 | 8,259 | 7,848 | 84,242 |
| (前年度比) | 441 | ▲546 | 71 | 739 | 1,792 | 1,697 | ▲2,452 | ▲333 | ▲823 | 384 | 970 |

(▲＝減)

※1 中央公民館；講堂は7月～9月空調機故障により使用中止⇒算出せず

※2 中央公民館；令和6年5月・6月空調機設置工事のため、第3会議室、研修室、学級講座室、調理室及び和室の使用中止⇒算出せず

※3 本埜公民館は保全改修工事のため令和6年度休館。

また、参考として令和8年1月末までの施設使用状況を利用率によって算出した。利用率の算出方法は、1日を午前・午後・夜間（開館日のみ）の3コマでカウントして算出したものとなります。

| | 時間帯（午前・午後・夜間）コマ数による利用率 | | | 夜間開館曜日 | 稼働時間帯数 | 貸館部屋数 |
|--------|------------------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | 使用コマ数 | 総コマ数 | 利用率 | | | |
| 中央 | 1,923 | 5,557 | 34.6% | | 573 | 11 |
| R6 | 2,669 | 6,248 | 42.7% | 水・土 | 568 | 11 |
| (前年度比) | ▲746 | ▲691 | -8.1% | | 5 | 0 |
| 小林 | 2,040 | 5,730 | 35.6% | | 573 | 10 |
| R6 | 2,675 | 5,680 | 47.1% | 水・土 | 568 | 10 |
| (前年度比) | ▲635 | 50 | -11.5% | | 5 | 0 |
| そうふけ | 2,668 | 5,157 | 51.7% | | 573 | 9 |
| R6 | 2,762 | 5,112 | 54.0% | 水・土 | 568 | 9 |
| (前年度比) | ▲94 | 45 | -2.3% | | 5 | 0 |
| 印旛 | 797 | 4,592 | 17.4% | | 574 | 8 |
| R6 | 831 | 4,568 | 18.2% | 木・金 | 571 | 8 |
| (前年度比) | ▲34 | 24 | -0.8% | | 3 | 0 |
| 本埜 | 1,255 | 6,780 | 18.5% | | 565 | 12 |
| R6 | 0 | 0 | 0.0% | 火・木 | 0 | 0 |
| (前年度比) | 1,255 | 6,780 | 18.5% | | 565 | 12 |
| 計 | 8,683 | 27,816 | 31.2% | | | |
| R6 | 8,937 | 21,608 | 41.4% | — | — | — |
| (前年度比) | ▲254 | 6,208 | -10.2% | | | |

(▲=減)

※1 中央公民館；講堂は7月～9月空調機故障により使用中止⇒算出せず

※2 中央公民館；令和6年5月・6月空調機設置工事のため、第3会議室、研修室、学級講座室、調理室及び和室の使用中止⇒算出せず

※3 本埜公民館は保全改修工事のため令和6年度休館。